

376.7
M031
㊦

文部省專門
学務局
高等學校高等科臨時教授要綱
文部省編



0051177-000

376.7-M031ウ

高等学校高等科臨時教授要綱

文部省専門学務局・編

日本出版文化協会

昭和17

AHM

93
18

十七年三月 文部省訓令第七號別冊

文部省專門學務局

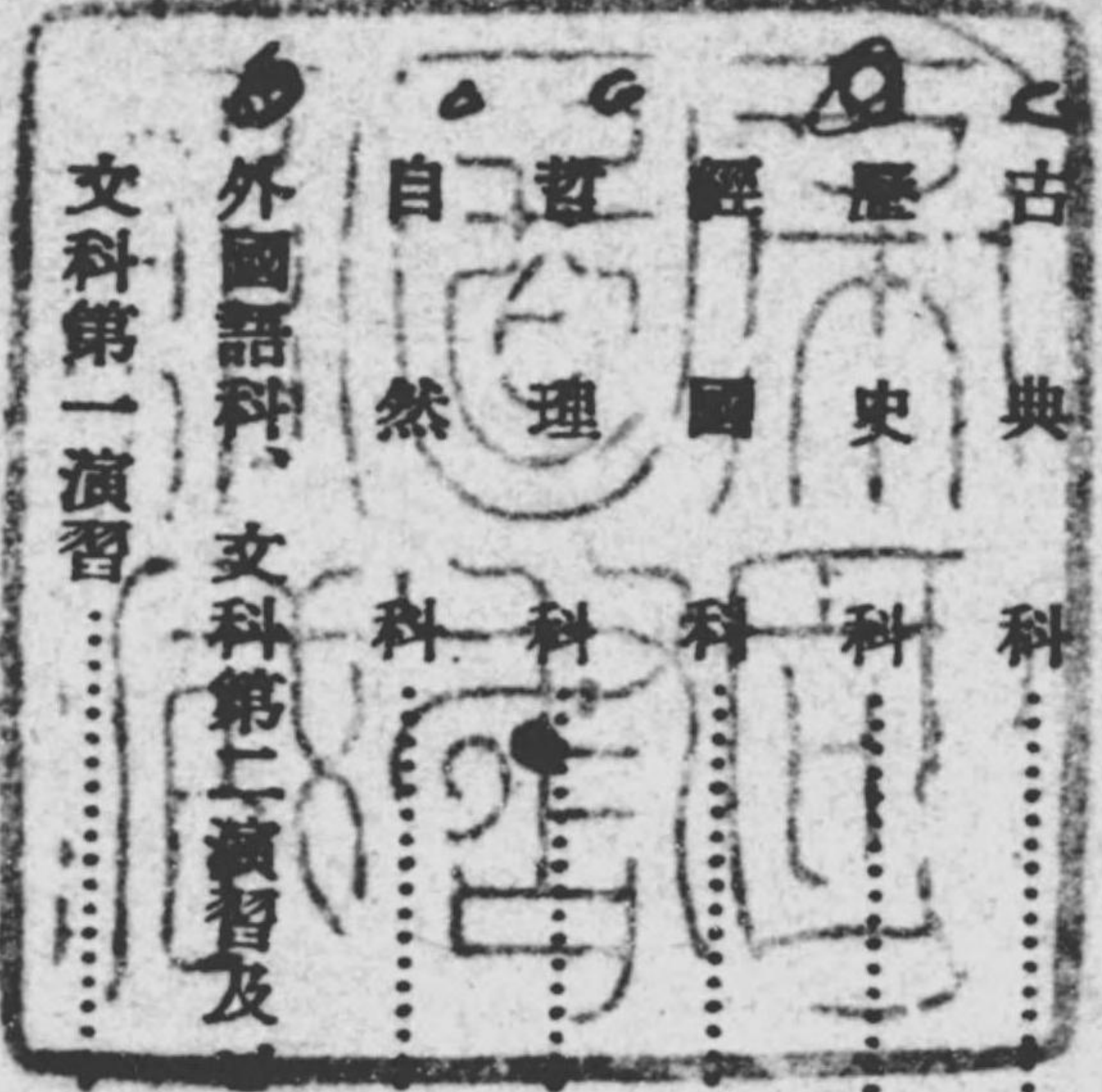
高等學校高等科臨時教授要綱

日本出版文化協會

376.7
Mo.31

目次

道義科	一
高等學校高等科教育ノ趣旨	一
古典科	三
歷史科	三
經濟科	三
地理科	三
自然科	三
外國語科	三
文科第一演習	三
理科第一演習	三
理科第二演習	三
理科第三演習	三
數學科	七
理化學科及ヒ理科第一演習	七七
博物科及ヒ理科第二演習	八七
人文科	一〇九
體鍊科	一二三
附錄 文部省令及ヒ文部省訓令	一二七



高等學校高等科ノ教育ハ左記ノ趣旨ニ依リ之ヲ行フベシ

一、皇國ノ道ヲ修メ世界ニ於ケル皇國ノ使命ヲ體得シ克ク國家ノ重キニ任ジ大東亞新秩序建設ノ大業ヲ翼贊シ奉ルベキ材幹ヲ鍊成スベシ

二、至誠純忠ニシテ敬神崇祖ノ念ニ篤ク氣節ヲ尙ビ廉恥ヲ重ンジ剛毅果斷ニシテ進取ノ氣象ニ富ム指導的人物ヲラシムベシ

三、身心一體ノ鍛鍊ヲ重ンジ質實剛健ノ氣風ヲ振勵シ高邁瀟灑ノ氣宇ヲ涵養スベシ

四、知行一如ノ學風、自發的・共同的・實踐的ナル學習ヲ重ンジ思索ヲ精ニシ識見ヲ長ジテ文化創造ノ根源力ニ培フベシ

道義科

教授方針

道義科ハ教育ニ關スル勅語ノ趣旨ヲ奉ジテ我方國體ノ本義ヲ闡明シ以テ皇國ノ道ニ徹セシメテ至誠純忠ノ信念ノ確

立ニ皇國臣民タルノ德業職見ノ涵養トヲ期シ特ニ青少年學徒ニ賜ハリタル勅語ノ趣旨ヲ體シテ將來國民ノ指導者ト

シ大東亞新秩序建設ノ重責ニ任ジ皇國ノ使命遂行ニ挺身邁往スルノ實踐力ヲ啓培スルヲ以テ要旨トス

各學年ヲ通ジテ教育ニ關スル勅語ヲ始メ神勅聖訓ノ奉戴ニ徹底セシムルヤウカムベシ

皇國ノ道ヲ明ラカシ祖先ノ遺風ヲ體得セシメ以テ國民の信念ヲ啓培シ特ニ先哲偉人忠臣烈士ノ生命ニ觸レシムルヤウカムベシ

三、國民ノ指導者タルニフサハシキ雄大潤達ナル氣宇ト剛毅果斷ノ實踐力トヲ獲得セシムベク常ニ生徒ノ自發的活動ノ暢達振張ヲ圖ルト共ニ身心ノ修養、生活ノ訓練ニツキテハ嚴正ナル具體的指導ヲナスベシ

四、我方國民生活ノ歴史的風土的特質及ビ様相ヲ究メ以テ皇國ノ道ノ由來ト本質トヲ明ラカシ我方國文化ノ一切ハ國體ニ淵源スルモノナル所以ヲ實踐活動ヲ通ジテ體認セシムベシ

五、皇國ノ道ニ則リテ東西ノ文化及ビソレガ基クトコロノ思想ヲ夫々ノ歴史ニ即シテ檢討シ以テソノ特質ヲ理解セシメ之等ヲ醇化統一スベキ我方國ノ使命ヲ體得セシムルト共ニ正シキ世界文化創造ノ問題ニ關シテ生徒ノ自發的ナル思索、研究等ヲ指導促進スベシ

道義科

六、本科ガ諸學科ノ中樞的地位ニアル所以ヲ明ラカニシ授業時間ノ一部ヲ以テ本科ノ目的達成ニ資スベキ學級訓練、校長訓話、特別講演、實地見聞等ニ充テ又知行一如、師弟同行、俱學俱進ノ修練ニヨリテソノ實ヲ舉グルヤウ全校一致ノ努力ヲ致スベシ

教授事項

注意—各事項ニ附シタル註ハ特ニ必要ト認メラルル點ヲ指示シタルモノニシテ當該事項ノ全體的說明ニ非ズ

全學年ニ互リテ扱フベキ事項

一、神勅聖訓ノ奉體

神勅聖訓ニ示サレタル御訓ハ教授ノ根幹ナルガ故ニ隨時隨所ニ於テ説クヲ要スルモ特ニ神勅聖訓ヲ述義シ奉ル時間ヲモ設クベシ

神勅聖訓ノ述義ニ當リテハ單ニ字句ヲ解釋シ奉ルニ止ルコトナク聖慮ノ存スルコロヲ奉體セシムルニ力メ以テ皇謨ノ宏大悠遠ナルコトヲ覺ラシムルト共ニ我が國ガ國歩艱難・國民思想昏迷ノ危機ニ際會セル時ハ常ニ聖勅ノ斷ニヨリテソノ向フベキ道ノ昭ラカニセラレタル歴史の事實ヲ理解セシムベシ

特別ナル神勅聖訓ニツキテハ之ヲ暗誦シ奉ルヲ得ルヤウ訓練ヲ施スト共ニ嚴肅ナル態度ヲ以テ之ヲ謹寫セシムベシ

主トシテ第一學年ニ於テ扱フベキ事項

一、高等學校ノ精神ト生活

高等學校ハ皇國ノ道ニ則ル世界新秩序建設ノ爲ニ挺身奉公スベキ指導的人格ノ鍊成ヲ企圖スルモノナルコトヲ自覺セシメ且高等學校ハ嚴肅ナル修練道場タルコトヲ體認セシムベシ

質實剛健ナル校風ヲ振作セシムルタメ生徒ヲシテソノ具體的方策ヲ考究セシムベシ

二、學問・求道ノ精神

人ハ國民トシテノミ人タルモノナル所以ヲ自覺反省セシメ我等ハ學問、求道ニヨリテ日ニ日ニ人タラシメラルモノナルコトヲ明ラカニスルト共ニ我が國ノ學問ハ國體ニ淵源シ皇運扶翼ノ活動ニ外ナラザル所以ヲ體得セシムベシ

先哲偉人ノ學問觀竝ビニソノ學問、求道ノ生活ノ實際ヲ教フベシ

師弟ノ道、學友ノ道ヲ明ラカニシ切磋琢磨、同行俱進ノ生活ヲ鼓舞スベシ

國民的の信念ノ確立ニ資スベキ讀書ニツキテソノ選擇、方法等ノ指導ヲナスベシ

三、國民ノ指導者

指導者タルベキ者ハ信念、氣魄、識見、德行、情操、健康ニ優レ雄大ナル構想力ト潤達ナル創造力トヲ必要トスルト同時ニ感恩報謝、信賴隨順ノ念ニ篤ク身ヲ持スルコト恭儉而モ責任感ニ富ミ剛毅果斷ノ實踐力ヲモツ者タルコトヲ覺ラシムベシ

右ノ事柄ヲ抽象的問題トシテ取扱フコトナク偉大ナル人物ノ言行、業績ヲ尋ネテ生徒ヲシテ感奮興起セシムベシ
個人主義的英雄主義ノ鼓吹ニ陥ラザルヤウ戒心スベシ

四、修養、鍛鍊

一切ノ修養、鍛鍊ハ盡忠報國ノ誠ニ生キ國民的德性ヲ涵養センガ爲ノモノニ外ナラザルコトヲ覺ラシムベシ
修養、鍛鍊ノ方法ニツキテ適正ナル指導ヲ與フベシ
勤勞ハ身心一體、學行一如ノ實ヲ舉グル修練ナル所以ヲ覺ラシムベシ

五、人生ノ諸問題

青年期ニ特有ナル思想上乃至實踐上ノ人生ノ諸問題ニツキテハ單ニ抽象的理論ニヨリテ説明スルコトナク之等ノ
問題ハ國民トシテノ實踐ニ於テノミ正シク理解セラルベキモノナルコトヲ歷史上及ビ日常生活ノ實例ニ基ツキテ
反省自覺セシムベシ
生徒ノ眞摯ナル理論探求ノ熱情ニ對シテハ十分ナル理解ヲ以テ臨ミソレヲ通ジテ正シキ實踐力ガ把握セラルルヤ
ウ指導スベシ
生徒ノ質問ニ基ツキテ問答ヲナシ又ハ論文ヲ提出セシメコレニ對シテ相互批判ヲナサシムル等ノ演習形式ヲ用ヒ
テ指導シ以テ切磋琢磨ノ實ヲ舉グベシ

主トシテ第二學年ニ於テ扱フベキ事項

一、我方國體

皇國以來ノ史實ニ徴シテ萬世不易ナル我方國體ノ本義ヲ闡明シ單ナル抽象的形式的説明ニ陥ラザルヤウ留意スベ
シ

二、國體觀念ノ明徴

神代ノ古事及ビ古傳等ニ一貫シテ見ラルル國體觀念ハ歴史ノ進展ト共ニ愈々明徴ニセラレ常ニソレガ國運發展ノ
源泉タリ國民的創造力ノ根基タリシ所以ヲ明ラカニスベシ
承詔必謹、忠君愛國、敬神崇祖、忠孝一本ノ臣節ヲ全ウシタル忠臣烈士ノ國體觀念ヲソノ言行ヲ通ジテ具體的ニ
會得セシムベシ

三、皇國ノ道ノ具現

國史ヲ通ジテ見ラルル我方國民生活ノ傳統、政治・經濟・思想・文化等ノ特質ガ凡テ皇國ノ道ノ顯現ナルコトヲ
明ラカニスベシ

四、皇國ノ道ト外來文化

惟神ノ道、祭政教一致、清明心、和ノ精神、忠孝一致、文武一體、武士道、家ノ精神、慈悲仁愛ノ精神、日本の
自然觀、日本ノ藝術科學技術ニ於ケル特質、日本の職業觀等ヲ具體的事實ニ即シ體驗、情操ニ訴ヘツツ説クベシ
皇國ノ道ハ常ニソノ自主性ヲ失ハズ而モ宏大無限ノ包容性ヲ有シテ絶エズ外來文化ヲ醇化シ來リタルコト及ビ外
來文化ハ我方國ニ於テソノ正シキ發展ヲ遂ゲ得タル事實ヲ明ラカニスベシ

右ノ意味ニ於テ外來文化ハ常ニ皇基ヲ振起スル爲ノ重大ナル契機タリシコトヲ知ラシメ從ツテ外國文化ノ尊重スベキ所以ヲ覺ラシムベシ

確固タル自主的立場ニ立チテ外來文化ノ攝取醇化ニ貢獻シタル先人ノ業績ニツキテ説クベシ

五、皇國ノ道ト現代日本

(一) 皇室典範、帝國憲法

(二) 現代日本ノ政治、經濟、軍事、思想、文化

(三) 皇國ノ道ト世界新秩序建設

皇室典範、帝國憲法ハ皇國ノ道ヲ成文トシタルモノナル所以ヲ精神史的ニ闡明スベシ

天皇統治ノ本義、我が國ノ法及ビ經濟ノ本質ヲ國史ノ事實、先哲ノ思想ヲ通ジテ明ラカニシ現代日本ノ複雜多岐ナル國家組織ノ中ニ於テモソノ本質ガ嚴然トシテ存スル所以ヲ覺ラシムベシ 現實ノ諸問題ニ即シテ東亞及ビ世界ノ大勢ヲ展望シ皇國ノ道ニ基ツキテノミ正シキ世界新秩序ノ建設ガ可能ナリトノ確信ヲ與フルト共ニ本問題ニツキ生徒ノ自發的ニシテ且着實ナル研究、調査、思索等ノ活動ヲ指導促進スベシ

國家及ビ世界經綸ニツキテ卓越セル業績・抱負ヲ殘シタル先人ノ傳記・遺著ヲ研究セシムベシ

本項ノ問題ニ關シテハ特ニ文科ニアリテハ經國科及ビ歴史科トノ連絡ヲ密ニシテ取扱フベク理科ニアリテハ人文科ト十分ニ連絡シテ取扱フベシ

主トシテ第三學年ニ於テ取扱フベキ事項

一、國民生活ト道義

道義ハ宗教、藝術、政治、經濟、軍事等人間活動ノ一切ヲ通ジテ發現セラルベキモノニシテ人間生活ノ根基タルト同時ニソノ歸一スベキ目標ナル所以ヲ明ラカニシ且讀書、學級訓練、特別講演等ヲ通ジテソレヲ體現シタル内外ノ偉大ナル宗教家、藝術家、政治家、武人等ノ思想生活ノ真相ニ觸レシムベシ

二、道徳ノ理論的反省

道徳トハ人間生活ノ根柢ヲナス人倫ガ歷史的實踐ヲ通ジテ生活ノ秩序トシテ把握セラレタルモノニ外ナラザルコトヲ明ラカニシ抽象的思惟ニ基ツク理想概念ノミニヨリテハ道徳的規範ノ求ムベカラザル所以ヲ反省セシムベシ 個人ト國家、理想ト現實、理論ト實踐等ノ問題ハ國民的實踐ニ於テ既ニ一如ノモノトシテ統一セラレ居ル所以ヲ人生觀的確信ヲ得ルマデニ十分自覺反省セシムベシ

三、國家及ビ國民生活

國家及ビ國民生活ハ歷史的現實トシテノミ存在スル所以ヲ説クベシ 古來多クノ國家ノ基礎不安定ナルハソノ基ツク原因ガ相對的ナルニヨルコトヲ明ラカニシコレニ反シテ我が國ハ絕對的原理ニ基ツク神國ナル所以ヲ明ラカニシテ神洲不滅ノ信念ヲ固メシムベシ

四、東洋及ビ西洋ノ道徳思想ノ特質トソノ批判

煩瑣ニシテ形式的ナル道徳思想史ノ如キヲ説クコトナク典型的諸思想ノ特質ヲ明ラカニシソノ實現タル文化諸相

ニツキテ具體的ニ説述スベシ

思想・文化ノ隆替ハソレヲ擔フ國民ノ世界觀的確信ニ基ツク實踐力ニ深ク影響セラルル事實ヲ明ラカニスベシ
之等ノ思想特ニ近代歐米思想ニ對シテハ説述ノ際絶エズ我が國ノ立場ヨリスル嚴正ナル批判ヲ加フベシ

五、道義ニ基ツク世界秩序ノ建設

我が國ノ精神ニ基ツキテ道義的世界秩序ヲ建設スベキ我が國ノ使命ニツキテ説キカカル理想ハ國民ガ卓拔ナル
識見、雄大ナル包容力並ビニ透徹セル死生觀ヲ有シ只管皇運ノ扶翼シ奉ラントノ一念ニ生クルコトニヨリテ實現
セラルルモノナルコトヲ明ラカニシ特ニ典籍ヲ通ジテ文武一體ノ實ヲ擧ゲタル忠臣烈士先哲偉人ノ風格ニ觸レシ
メツツソノ自覺ニ導クベシ

本問題ニツキテハ古典科、歴史科、經國科、哲理科、人文科、自然科等トノ十分ナル連絡統合ヲ圖リ廣キ視野ト
深キ省察トノ下ニ把握セシムルヤウ生徒ノ思索研究ヲ指導スベシ

教授上ノ注意

一、教授事項中特ニ指示ヲ附シタルモノ以外ニアリテモ能フル限リ典籍ニヨリテ古典ノ精神、先哲偉人忠臣烈士ノ
生命ニ觸レシメ且學級訓練、校長訓話、特別講演等ノ機會ヲ設クルヤウカムベシ

典籍講讀、學級訓練、特別講演等ヲ擔當スル者ハ本科ヲ擔當スル教官以外ノ適當ナル校内他學科教官及ビ學校
外ヨリ招聘セル講師ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得ベシ

二、學級訓練トシテハ教授事項ニ示セルモノノ外見學、參拜、勤勞、禮法、行的行事等ニヨリテ團體行動・日常生

活ノ訓練ヲナシ或ハ寄宿寮生活ト關聯シテ敬神崇祖、孝養ノ念ノ喚起等ノ實踐指導ヲナスベクソノ際特ニ體鍊
科及ビ學校修練組織トノ一體的關係ニ留意スベシ

三、本科固有ノ任務ト地位トニ鑑ミテ教授事項中特ニ指示セル場合以外ニ於テモ常ニ他ノ諸學科トノ關聯ヲ密接ニ
シ又ハ之等ト共同シテ本科ノ目的達成ヲ圖ルベシ 從ツテ教授内容ハ必ズ全校の立場ニ於テ慎重ニ決定スルコ
トトシ學科相互ノ關係ヲ缺クガ如キ結果ヲ招來セザルヤウカムベシ

四、徒ラニ専門的知識ノ體系の教授ニ陥ルコトナキヲ要ス 生徒ノ生活並ニ心理ノ實際ニ即シ又常ニ現實ノ國家活
動、社會ノ動向ニ留意シテ教授スルヲ要ス 特ニ生徒ノ青年期ニ於ケル精神的動搖及ビ人生觀・世界觀・國家
觀上ノ疑問ト苦惱トニツキテハ生徒ヲシテ自ラコレヲ究明セントスル精神及ビ態度ヲ養ハシムルト共ニソノ
疑問、苦惱ヲ通ジテ確固タル信念ト實踐力トヲ得ルヤウ指導スベシ

五、典籍ヲ通ジテ教授ヲナスニ當リテハ重要ナルモノハ之ヲ常ニ生徒ニ所持セシムルコトヲ要スルモソレハ單ニ本
科ノ教科書乃至參考書ニ止マルコトナク本科ト密接ニ關聯スル他學科ニモ同時ニ利用セラルルモノタルベシ

六、文科ノ教授ニ當リテハ第一演習ト密接ナル連絡ヲ保ツ必要アルノミナラズコレト共通ナル教授時間ヲ設クルコ
トニヨリテ效果ヲ擧グベキモノ酌カラザルヲ以テソノ點ニ關シテ十分ナル配慮ト適切ナル計畫ヲナスベシ

七、理科ノ教授ニ當リテハ特ニ次ノ事項ニ留意スルヲ要ス

(イ) 人文科ト連絡ヲ圖ル等ノ配慮ヲナシ二年及ビ三年ニ於テ國民的古典ニ出來得ル限リ多ク觸レシムルヤウ

指導スルコト

道義科

(ロ) 本科ノ教授事項中文科ノ他ノ諸學科ニ於テモ取扱ハルル事項一例ヘバ古典ノ利用ノ問題、政治經濟ノ問題、歴史の事實ノ問題、理論的反省ノ問題、國家國土ノ問題等一ハ人文科ト連絡ノ上懇切ニ取扱フコト

八、教授事項ハソノ大綱ヲ示シタルモノニシテ教授方針竝ニ教授事項ノ中ニ説明指示シタル趣旨ニ戻ラザル限リ或ハ順序ヲ變更シ或ハ二ツ以上ノ事項ヲ纏メテ取扱ヒ乃至同一ノ事項ヲ各學年ニ互リテ適宜繰返シ取扱フモ差支ナキモノトス

古 典 科

教授方針

古典科ハ國典、漢籍ヲ授ケテコレガ理解ノ能力ヲ養ヒ醇正ナル國語ヲ體得セシメテ國體ノ觀念ヲ明徴ニシ國民的情操ヲ豊カニシ皇國ノ傳統ヲ護持シソノ生々發展ニ資セシムルヲ以テ要旨トス

一、國典ニ就キテハ皇國ノ古典ヲ貫流スル精神トソノ内ニ生動スル表現トヲ學ビテ皇神ノ道義、言靈ノ風雅ヲ會得シ以テソレラガ皇國今日ノ歴史の建設ニ參スル所以ヲ知ラシムルヲ要ス

國語ニ就キテハソノ論理的構造ノ理解ト語感ノ體認トニヨリ國語ガ國民ノ思想感情ヲ具現涵養スルモノナルコトヲ知ラシメ國語ノ正確自由ナル使用ト明晰醇雅ナル表現トニ習熟セシムルト共ニ國語尊重ノ念ヲ養フヲ要ス

二、漢籍ニ就キテハ訓讀法ニヨリテ用語ノ意義ト文章ノ構造トヲ正確ニ理解セシメ東洋思想ノ本義ヲ會得スルト共ニ特ニ我方國民生活ニ醇化セラレタル跡ヲ明ラカニシテ識見ヲ長シ氣節ヲ尙ビ以テ國民精神ノ涵養ニ資セシムルヲ要ス

教授事項

文 科

一、講 讀 約二百時間 第一、二、三學年
必修教材

古典科

古事記、萬葉集

四書

選擇教材

歷代御製、日本書記、古語拾遺、續日本紀宣命、延喜式祝詞、古今和歌集、源氏物語、平家物語、新古今和歌集、神皇正統記、太平記、新葉和歌集、謡曲、芭蕉蕉門蕪村ノ作品、國學者論著或ハコレヲノ外風土記、枕草子、大鏡、倭漢朗詠集、金槐和歌集、增鏡、高僧ノ法語、世阿彌近松ノ作品、國學者幕末勤皇志士ノ作ヲ中心トスル近世詩歌等

史記、漢書、春秋左氏傳、資治通鑑、先秦諸子、近世儒書、唐宋明清名家ノ詩文或ハコレヲノ外漢文ニヨル本邦先哲志士ノ述作等

一、必修教材ハ初學年ヨリ教授スルヲ可トス

二、選擇教材ハソノ若干ヲ選擇配合シテ必修教材ヲ補ヒ教授方針ノ徹底ヲ期スベシ 日本書紀ニアリテハ神代卷ソノ他、續日本紀宣命ニアリテハ文武天皇即位ノ詔ソノ他、延喜式祝詞ニアリテハ祈年祭ソノ他、國學者論著ニアリテハうひ山ふみソノ他ヲ教授スルヲ可トス 他ノ選擇抄出ハコレニ準ズ

三、國典ノ講讀ニアリテハ思想内容ノ把握ヲ重ズルト共ニ正確ナル理解ノ能力ヲ養成スベシ

四、古事記ニ於テハソノ上表ニ示サレタルガ如キ精神及ビ撰錄ノ目的ヲ闡明スルコトヲ旨トシ神代卷ソノ他適切ナル個所ヲ講讀シ萬葉集ニ於テハ國民的信念情感ノ溢レタル歌ヲ中心トシテ之ヲ授ケ古事記萬葉集共ニソノ全

貌ヲ把握セシムベシ

五、漢籍ノ講讀ニアリテハ思想内容ノ把握ヲ重ズルト共ニソノ文字・用語・文章ノ特質ヲ明ラカニシテ正確ナル理解力ノ養成ニ留意スベシ

六、漢籍ニソノ詩文ニ於テハ道義心ヲ涵養シ情操ヲ陶冶スルト共ニソノ簡潔遒勁ナル文章ノ特性ヲ理解シ作文ノ表現能力ノ養成ニ資セシムベシ

七、漢籍ノ講讀中必要ナル場合ニ於テハ支那現代文ニ關スル基礎知識ヲ授クルコトヲ得

一、講義

(一) 國語要説 約三十時間 第一學年

(二) 國文學史 約四十時間 第二、三學年

(三) 支那思想史 約二十時間 第二、三學年

一、國語要説ハ音韻、文字、假名遣、語法、語彙、標準語、方言、口語、文語、國語ノ歴史、各時代ノ國語ノ特徵等基本的事項ニ就キテ解説シテ國語ニ關スル意識ヲ整理深化セシメ以テ國語ノ特質ヲ明ラカニシ國語ニ對スル正シキ見識ヲ長養セシムベシ

二、國文學史ハ作品ニ即シテ具體的ニ之ヲ授ケ講讀、演習ト相俟テソノ機能ヲ果サシムベシ 傳記、書誌等ノ事項ハ適當ナル參考書ニ讓リ講義ハ専ラ思想史的、藝術史的ニ之ヲ扱ヒ皇國文學ノ淵源及ビソノ史的展開、本質ノ闡明ヲ力ヲ致シ汎ク皇國文化一般ノ特質トノ關聯ニ留意シ世界文化史ニ於ケル皇國ノ古典ノ地位ヲ明ラカ

ニスベシ

一、支那思想史ハ道德・哲學・文藝ノ諸思想ノ概略ヲ歴史的二解説シ我ガ國文化トノ關聯ニ留意シテソノ特色ヲ明ラカニスルト共ニ彼我國情ノ相違ニ鑑ミテ適切ナル批判ヲ加フベシ。ナホ講義ニ當リテハ講讀、演習ト相俟チテソノ機能ヲ全クセムコトヲ期スベシ

一、國語要説、國文學史、支那思想史ノ學年配當ハ都合ニヨリテハ之ヲ變更スルヲ妨グズ

三、作 文 每學期二回以上 第一、二、三學年

一、作文ハ講讀、國語要説等ト相俟チテ的確ニシテ暢達セル表現ノ能力ヲ養ヒ思考力ヲ練リ思想體驗ノ發達擴充ニ資セシムベシ

一、作文ハ口語文ヲ主トシ文語文、書翰文等ヲ併セ課スベシ 必要ニヨリテハ文話ヲ行フベシ

一、作文ヲ課スルニハ即題及ビ宿題トシ思想内容ノ批判、語格表現ノ是正、推敲ノ指導等ハ教授者自ラ之ヲ行フノミナラズ生徒相互間ニ於テモ添削批評ヲナサシムル等演習的二指導スルヲ要ス

一、作文ハ右ニ定メタル外第一演習ニ於テモ之ヲ課スベシ

理 科

一、講 讀 約百時間 第一學年

一、文科ニ準ズ

但シ漢籍ニ就キテハ論語ヲ以テ中心トス

一、國典講讀ニアリテハ必修教材ノ外選擇教材ヲ時代的ニ配列セル抄本等ヲ用ヒ國文學史の解説ヲ加フルヲ可トス

一、國語ニ關スル正シキ基本的知識ヲ與フルヤウ考慮スベシ

二、作 文 每學期二回以上 第一、二學年

一、文科ニ準ズ

但シ第二學年ニアリテハ人文科、道義科等ニ於テ之ヲ課スベシ

教授上ノ注意

一、教授方針並ビニ教授事項ニ於テ指示スル重點ハコレガ徹底ニ力ヲ致スト共ニ教授者各自ノ識見ニ基ヅキ潑刺タル授業ヲ行フベシ

二、講讀、講義及ビ作文ハ教授方針ニ基ヅキ各ノ機能ヲ果スト共ニ相互ノ關聯ト統一トヲ失フコトナキヤウ注意スベシ

三、道義科、歴史科、哲理科等ノ古典ヲ取扱フベキ學科トノ連絡ヲ怠ラザルベク特ニ文科第一演習ニ於テハ上述ノ諸學科ト相携ヘテ本教授方針ニヨル機能ヲ果スヤウ努力スベシ

四、理科ノ人文科ニ於テモ前項ニ準ジテ古典ノ理解、藝術的情操ノ涵養ニカムベシ

五、教材ノ取扱ニ當リテハ古典尊重ノ念ヲ養フニ遺憾ナキヤウ留意シ授業時間數ノ制限ニヨリテ全部ヲ授クルコト能ハザル場合ニモ生徒ヲ進メテ自習シ讀書ノ喜ビヲ味得セシムルヤウ指導スベシ 目的ニヨリテハ優レタ

古典科

ル文學作品、思想家ノ著作ソノ他各時代ノ代表的文章ヲ拔萃編纂セルモノヲ用フルモ可ナリ。ナホ教材以外ノ讀書ニ關シテモ適切ナル指導ヲ與フベシ。

六、教授方法ニ就キテハ徒ニ舊套ニ捉ハレズ斬新ナル工夫ヲ凝ラスヲ要ス。漢籍ニヨリテソノ一例ヲ示セバ史記ヲ教材トシ文科三年間ヲ通ジテ之ヲ用ヒ孔子世家、仲尼弟子列傳、孟子荀卿列傳等ヲ讀ミテハ儒家思想ノ發展ヲ考ヘ太史公自序、管晏老莊申韓孫吳蘇張等ノ諸傳ヲヨリテハ先秦諸子ノ關係ヲ概觀シ史記ノ一本ニヨリ支那古代思想ノ源委ヲ究ムルガ如キコトモ之ヲ行フヲ得ベシ。

歴史科

教授方針

歴史科ハ肇國精神ノ史的顯現ヲ詳カニシテ國體ノ精華、文化ノ傳統、皇國ノ現勢ヲ闡明シ國民的信念ヲ愈々鞏固ナラシムルト共ニ汎ク東亞及ビ世界ニ於ケル國家・民族・文化ノ興亡盛衰ノ因由・様相ヲ究メ特ニソノ主流ト現勢トヲ明ラカニシテ皇國ノ世界史的使命ヲ體得セシメソノ實踐ニ資スルヲ以テ要旨トス。

之ヲ分チテ國史、東洋史、西洋史、世界現代史ノ四類トナスハ國民トシテ須要ナル歴史的識見ヲ長セシムルタメノ方途ニシテ要ハ歴史ニ對スル皇國民トシテノ自覺ヲ明確ニシ我方國運ノ進展ト東亞及ビ世界ノ變遷推移トヲ全體の聯關ノ下ニ學習セシムルニアリ。コレガ教授ニ當リテソノ方針トスベキトコロ概ネ左ノ如シ。

一、國史ニアリテハ皇國ノ史績ガ肇國精神ノ顯現ナル所以ヲ明ラカニシテ國體ノ本義ニ徹セシムルト共ニ連綿タル國運ノ進展ヲ基トシテ時代ノ様相、文化ノ傳統ヲ究メ世界的視野ニ立チテ我方歴史事跡ノ特質・意義ヲ闡明シ我方國民性ノ優秀ナルコトヲ知ラシメ以テ皇國ノ使命ノ自覺ト實踐トニ培フベシ。常ニ歷代天皇ノ鴻業ヲ景仰シ忠良賢哲ノ行實ヲ顯彰シテ感激ト修養トニ資シ肇國ノ事歴ハモトヨリ大化改新・建武中興・明治維新及ビ海外發展・國威宣揚等皇國ノ進展ニ於ケル顯著ナル時期・事歴ニハ特ニ關心ヲモクシメ以テ盡忠奉公ノ精神ニ徹セシムベシ。國運進展ノ時代的様相ニ着目シ大義名分ヲ明ラカニスベキハ勿論ナルモ先蹤ニ對スル批判ニハ事跡ノ歴史性ヲ考慮シテ慎重ヲ期スベク矯激ニ互リテ傳統精神ヲ毀損スルガ如キコトナキヲ要ス。對外關係ノ取扱ニ於テハ我方

國ノ自主的立場ヲ重ズルト共ニ溢リナル獨善・排他ニ陥リテ史實ノ真相ヲ見誤ラシメザルコト肝要ナリ

二、東洋史ニアリテハアジヤ諸國・諸民族ノ興亡盛衰トソノ政治・文化ノ消長トヲ明ラカニシテアジヤニ於ケル歴史ノ主流ヲ把握セシムルト共ニ日支關係ノ諸問題、西力東漸ノ真相ヲ究メテ現下ノ諸情勢ノ由來ヲ闡明シ以テ皇國ノ使命ノ自覺ト實踐トニ資スベシ 大東亞共榮圈ヲ確立スベキ我ガ地位・使命ニ鑑ミ東洋史ノ視野ヲ擴大シテ之ヲ全アジヤ史ニ展開セシメアジヤガ世界文化ノ重要ナル發祥地タルコトアジヤ諸民族ノ世界文化ヘノ貢獻並ビニ歐洲進出ノ事歴等ニハ特ニ關心ヲモクシメ以テ興亞ノ精神ヲ振起スベシ 更ニ近世以降歐米ノアジヤ侵略ノ顛末ト最近世ニ於ケル我ガ國ノ東亞保全ノ努力トヲ重視シ大東亞現時ノ趨勢ノ因由ヲ究明スルヲ要ス 東洋史學習ノ意義ニ鑑ミ皇國民タル自覺ニ於テ常ニ國史トノ連絡ニ留意シ特ニソノ關聯事項ヲ項目ニ明示セザルモノニ就キテモコレガ取扱ニ遺漏ナキヲ期スベシ

三、西洋史モアリテハ現代ニ於ケル世界秩序變革ノ趨勢ニ鑑ミ單ニ歐米諸國ノ治亂興亡ニ關スル知識ヲ授クルニ止ラズ廣キ展望ノ下ニ於テソノ主流ヲ明ラカニシ現下ノ諸情勢ノ由來ヲ洞察セシメテ皇國ノ地位・使命ニ對スル自覺ト實踐トニ資スベシ 從ヒテ史實ニ對スル網羅的理解ニ陥ラシメズ之ヲ重點的ニ綜合・要約シテ西洋史發展ノ段階ヲ闡明シ事理相即ノ立場ニ基ヅキテ歴史的思考力ヲ鍊成シ以テ皇國ヲ主體トスル世界史ノ把握ニ資スベシ 教育的見地ニ立チテ古代ヲ簡ニシ近代ヲ詳カニナスハ可ナルモ古代・中世ノ事歴ニシテソレゾレ爾後ノ歐洲世界ノ基底トナリ傳統ノ根本ヲナスモノニ就キテハ之ヲ力説スルヲ要ス 更ニ古代ニ關シテハ古代文化ノ多元性ヲ究メテ古代世界ガ單ニ歐洲史ノ前期タルノミナラズマタ完結セル歴史體系ヲ有スルモノナルコトヲ明ラカニシ中世

ニ關シテハ西歐の世界ノ形成ヲ究明スルト共ニコレト近代ノ市民的社會秩序、近代的世界觀並ビニソノ文化トノ相違ヲ闡明シ近代歐洲ノミヲ以テ歐洲ノ本質ト考フルガ如キ史觀ニ陥ラシメザルコト肝要ナリ 歐洲ノ精神的・文化的傳統トソノ意義トヲ闡明スルハ西洋史ノ主要ナル使命ナルモ一面歐洲以外ノ世界ニ對スル考慮ヲ怠ラズ世界史的見地ニ於テ國史及ビ東洋史トノ緊密ナル連絡ヲ保チ古代・中世ニ於ケル東西ノ交渉、近世・最近世ニ於ケル植民地戰爭、アメリカ合衆國ノ發展、太平洋問題ソノ他關聯事項ニ留意シテ適切ナル指導ヲナスベシ 四、世界現代史ニアリテハ皇國ノ進展ガ世界秩序ノ全面的變革ヲ導キツツアル現勢ニ鑑ミ第一次歐洲大戰以後ニ時期ヲ取リテ現代ノ歴史的性格ヲ鮮明ナラシムベシ 特ニ世界現代史ヲ課スル所以ハ國史、東洋史、西洋史ノ各個ガ孤立シテハ説キ盡クシ得ザルトコロニ現代ノ特殊性格ガ存スレバナリ 從ヒテ歐洲的世界史觀ノ舊套ヲ以テ世界ノ現狀ヲ闡明シ得ザルハ勿論ナルモ單ナル時事的知識ヲ以テスルモマタコレガ解明ハ所詮不可能ナリ 須ラク之ヲ正シキ史觀ノ下ニ現下ノ諸情勢ガ歴史ニ基ヅク現實ナルコトヲ確認セシムベシ コノ趣旨ニ基ヅキテ指導ノ的確ヲ期シ以テ皇國ノ世界史的使命ニ對スル自覺ヲ切實ナラシメ大東亞共榮圈確立ノ實踐ニ培フベシ

教授事項

東洋史(第一學年 約八十時間)

緒論 皇國ト東亞及ビ世界 歴史學習ノ意義

古代

一、アジヤノ黎明

歴史科

二、支那文化ノ始原

- (一) 古帝王ノ傳説
- (二) 夏・殷ノ時代

三、支那文化ノ成立

- (一) 殷周革命ト周公ノ政治
- (二) 春秋・戰國時代ノ推移
- (三) 周代ノ社會ト思想

四、漢民族ノ支那統一

- (一) 秦ノ始皇帝ノ統一トソノ政治
- (二) 漢代政治ノ推移
- (三) 漢ト四隣

(四) 漢代ノ文化ト社會

五、古代印度ノ文化

- (一) 古代印度民族トソノ文化
- (二) 佛教ノ興隆トソノ傳播

中 世

一、支那ノ分裂ト北方民族ノ活動

- (一) 三國、兩晉、南北朝
- (二) 滿鮮ノ形勢、南方ノ開發
- (三) 魏・晉・南北朝時代ノ社會ト文化

二、漢民族ノ隆盛

- (一) 隋ノ南北統一トソノ政治
- (二) 唐ノ創業トソノ制度
- (三) 唐ノ治亂

(四) 隋・唐ト四隣

(五) 隋・唐時代ノ文化ト社會

(六) サラセンノ勃興

三、東亞諸民族ノ對立ト回教世界

- (一) 五代ノ變局、北宋ノ政治
- (二) 宋・遼・西夏・高麗ノ諸關係
- (三) 金ノ勃興ト宋ノ南渡
- (四) 宋代ノ文化ト社會及ビ經濟

歴史科

四、蒙古民族ノ發展

(一) 蒙古ノ興起ト成吉思汗

(二) 蒙古ノ歐亞經略ト元ノ盛衰

(三) 元代ノ文化ト社會

五、漢民族ノ復興ト回教徒ノ興起

(一) 明ノ盛衰ト對外關係

(二) 明代ノ文化ト社會

(三) 李氏朝鮮ノ興起ト安南ノ形勢

(四) 回教徒ノ興起トオスマン・トルコ、チムール王朝、ムガル帝國

近 世

一、歐洲勢力ノ東方進出

(一) ポルトガル・イスパニヤ・オランダノ東侵

(二) イギリス・フランス・ロシアノ東侵

(三) キリスト教ノ傳來ト歐洲文化ノ移入

二、滿洲民族ノ興隆

(一) 滿洲族ノ勃興ト清ノ統一

(二) 清代盛時ノ制度ト文運

(三) 太平天國ノ亂ト清ノ衰運

三、アジアニ於ケル歐米勢力ノ侵迫

(一) 英領印度ノ成立

(二) 清ニ對スル英・佛ノ侵迫

(三) ロシヤノアジア經略

(四) フランスノ印度支那經略

(五) アメリカ合衆國ト支那貿易

(六) トルコ帝國ノ衰退

最近世

一、日清・日露兩役ヲ中心トスルアジアノ情勢

(一) 朝鮮問題ト日清戰役

(二) 列國ノ利權鬭争ト義和團ノ亂

(三) 日露戰役前後ノ形勢

(四) 日露戰役ノアジア諸民族ニ及ボセル影響

歴史科

- (五) 清末ノ社會ト文化
- (六) 清ノ滅亡、中華民國ノ成立
- 二、第一次歐洲大戰ヲ中心トスルアジアノ形勢
 - (一) 中華民國ト東亞ノ政局
 - (二) 第一次歐洲大戰トアジア諸民族

西洋史(第一學年第二學期及ビ第二學年 約百五時間)

古代

- 一、西洋文化ノ始原
 - (一) 古代史ノ意義(古代文化ノ多元性、古代世界ト歐洲世界)
 - (二) オリエントノ世界及ビエーゲ海文明
 - (三) 歐洲ノ古代トソノ民族
- 二、ギリシヤ民族トソノ文化
 - (一) ボリスノ成立トソノ性格
 - (二) ペルシヤ戰役トギリシヤ古典文化
 - (三) ボリスノ崩壞トヘレニズム世界
- 三、ローマノ發展ト地中海世界ノ統一

中世

- (一) 共和政治ノ發展トイタリヤ半島ノ征服
 - (二) 地中海世界ノ征服ト社會ノ變動
 - (三) 帝政ノ成立トソノ性格
 - 四、古代ノ没落
 - (一) 古代末期ノ社會經濟狀態
 - (二) 古代末期ノ精神生活トキリスト教
 - (三) ゲルマニヤ民族ノ侵入
 - (四) 古代・中世轉換ノ意義
- 一、西歐世界ノ成立
- (一) フランク王國ノ盛衰ト神聖ローマ帝國
 - (二) ノルマンノ活動、封建制度
- 二、東歐ト同教世界
- (一) ビザンツ帝國トスラヴ民族
 - (二) サラセン帝國及ビソノ文化
 - (三) 東洋諸民族ノ歐洲進出

三、キリスト教社會ト文化

(一) 法王權ノ消長

(二) 十字軍ノ意義

(三) 封建時代ノ社會經濟

(四) 中世ノ世界觀ト文化ノ諸相

四、近代歐洲ノ黎明

(一) 中央集權ト近代國家ノ發生

(二) 新航路ノ開拓、歐洲ノ膨脹トソノ意義

(三) 精神生活ノ更新

近代

一、ルネサンス

(一) ルネサンスノ概念、新シキ人間觀

(二) 北方ノルネサンス

二、宗教改革ト歐洲諸國

(一) 宗教改革ノ意義

(二) 各國ノ宗教改革運動

(三) 舊教ノ刷新ト宗教戰爭

三、專制國家ノ發展

(一) フランスノ專制政治

(二) イギリスノ革命ト議會政治

(三) ロシヤ及ヒプロシヤノ勃興

(四) 重商主義、海上權ノ推移ト植民地爭奪

四、歐洲ノ革新トソノ影響

(一) 十七・八世紀ノ精神生活

(二) 改革的風潮、啓蒙的專制主義

(三) アメリカ合衆國ノ獨立

最近世

一、フランス革命及ヒナポレオン時代

(一) 革命ノ起原

(二) 革命ノ推移及ヒ革命ト歐洲トノ關係

(三) ナポレオンノ出現トソノ歐洲征服

三、國民主義及ヒ自由主義ノ發展

歴史科

- (一) ウィーン會議ト反動政治
 - (二) 産業革命
 - (三) 産業革命ノ影響トイギリスノ内政改革
 - (四) 七月革命及ピソノ影響
 - (五) 二月革命及ビ國民主義・自由主義ノ進展
- 四、國民國家ノ建設
- (一) フランス第二帝政トイタリヤノ統一
 - (二) ドイツ帝國ノ建設、ビスマルク時代
 - (三) 帝政下ノロシヤ
 - (四) アメリカ合衆國ノ形成
- 五、世界政策時代
- (一) ハルカン問題、露土戰爭、ベルリン會議
 - (二) 列強ノ世界政策トソノ思潮
 - (三) 日英同盟ト日露戰役
 - (四) アメリカ合衆國ノ汎米政策、太平洋及ビ東亞政策
 - (五) 歐洲外交ノ變遷ト性格

(六) 第一次歐洲大戰

世界現代史(第三學年 約十二時間)

- 一、世界ノ轉換期
- (一) 第一次歐洲大戰前後ニ於ケル日本ノ地位トアジア民族ノ動向
 - (二) ヴエルサイユ條約トソノ修正
 - (三) 太平洋ヲ中心トスル國際關係
- 二、新體制國家ノ出現
- (一) ソ聯ノ成立トソノ動向
 - (二) イタリヤトファツシズム
 - (三) ナチス政權ノ成立
 - (四) 英・米・佛ソノ他諸國ノ動勢
 - (五) 支那ニ於ケル國民運動
- 三、世界新秩序ノ展開
- (一) 滿洲事變ノ世界史的意義
 - (二) ドイツノ振起、歐洲ノ變動
 - (三) 支那事變、第二次歐洲大戰、大東亞戰爭

(四) 世界史ノ轉換ト皇國ノ使命

國 史(第二・三學年 約八十五時間)

緒 論

國體ト國史

東亞及ビ世界ニ於ケル皇國ノ地位、國史ノ有スル獨自ノ性質ヲ闡明シ併セテ時代區分ノ方法・意義ヲ述ブベシ

一、肇 國

(一) 肇國ノ宏遠

(二) 天業ノ恢弘

二、皇威ノ發展

(一) 祭祀ト政治

(二) 氏族制度ト固有文化

(三) 對外關係トソノ影響

三、大化改新ト東亞ノ動向

(一) 改新ノ氣運ト大陸情勢

(二) 大化ノ新政

(三) 諸制度ノ確立

(四) 飛鳥時代ノ文化

四、國運ノ隆昌

(一) 奈良ノ盛世ト天平文化

(二) 平安初期ノ政治・文化

(三) 對外關係ノ推移

五、政治ノ變遷ト文化ノ成熟

(一) 攝關政治ト院政

(二) 文化ノ醇化

(三) 武門ノ興起

六、武家政治ノ成立過程ト文化

(一) 鎌倉幕府ノ開設

(二) 幕府政治ノ推移

(三) 文化ノ新様相

七、武士道ト元寇ノ擊攘

(一) 武士道ノ淵源・發達

(二) 元寇ノ擊攘

歴史科

(三) 國民精神ノ昂揚
八、建武中興ト勤皇精神

(一) 中興ノ宏謨

(二) 芳山ノ遺烈

九、國內情勢ノ變轉

(一) 室町幕府ト東山文化

(二) 群雄ノ分立ト民政

(三) 皇室ノ尊崇ト海内統一

(四) 政治・文化ノ新生面

十、海外雄飛ト世界情勢

(一) 邦人ノ海外進出

(二) 對外政策ノ弛張

(三) 西力東漸ノ波紋

(四) 南方發展ト經濟活動

十一、封建制度ト政治・經濟

(一) 江戸幕府ノ性格

(二) 鎖國ト海外情勢

(三) 幕府政治ノ弛張ト諸藩ノ治績

(四) 都市・交通・經濟ノ發達

十二、文運ノ興隆ト尊皇思想

(一) 諸學ノ振興トソノ特質

(二) 教育ノ普及

(三) 世相ト文化

(四) 尊皇思想ノ發展

十三、幕末ノ世局ト世界ノ動向

(一) 世界情勢ノ變遷

(二) 内憂外患ノ錯綜

(三) 尊攘運動ノ發展

十四、明治維新

(一) 王政復古

(二) 國是ノ確立

(三) 封建制度ノ終焉

十五、新政ノ進展

- (一) 立憲制度ノ確立
 - (二) 教育ト文化
 - (三) 軍事・經濟ノ發達
 - (四) 外交ノ展開
- 十六、國威ノ宣揚
- (一) 東亞ノ世局ト明治二十七年・八年戰役
 - (二) 東亞ノ危局ト明治三十七・八年戰役
 - (三) 戰後ノ國內情勢
 - (四) 對外關係ノ變貌

十七、大正時代ト世界情勢

- (一) 第一次歐洲大戰ト我方國
 - (二) 政治・經濟・文化ノ諸相
 - (三) 米・英ノ對日牽制
 - (四) 日支關係ノ推移
- 十八、昭和ノ大御代ト興亞ノ大業

(一) 滿洲事變ノ歴史の意義

(二) 大東亞戰爭ト皇國ノ世界史的使命

國史ノ回顧ト國民ノ覺悟

教授上ノ注意

- 一、教授者ハ國體ニ對スル確乎タル信念ト豐富ナル歴史の教養トヲ持シ授業ニ精彩アラシムルト共ニ質疑應答、演習トノ連絡ソノ他適宜ナル方法ニヨリテ生徒ノ自修の態度ヲ育成スベシ
- 二、中等學校ニ於テ履修セル歴史の教養ヲ基礎トシコレト關聯ヲ保チテ徒ニ重複スルコトヲ避ケ教授内容ヲ深メテ學習ノ效果ヲ全カラシムベシ
- 三、他ノ諸科目特ニ神話・古典・國土・世界史・歴史の現實ノ諸問題及ビ史上ノ人物・事象ヲ取扱ヘル教授事項トノ緊密ナル關聯ヲ保ツベシ
- 四、授業時數ノ減少ニ伴フ支障ヲ生ゼシムルコトナキヤウ教授ノ方法ニ工夫ヲ加フルト共ニ教授事項ニ對スル時間配當ヲ適切ナラシメ常ニ授業ノ進度ニ留意シテ全課程ノ履修ニ遺憾ナカラシムベシ
- 五、カメテ抽象的・證索的の説明ヲ避ケ史實ニ即シテソノ精神ヲ具體的ニ把握セシムルト共ニ歴史的思考ニ長セシメ皇國民トシテノ醇正ナル史觀ヲ確立セシムベシ
- 六、一時代、一事項ヲ詳説スルニ偏シタメニ全體ヲ概觀スルノ餘裕ヲ失ヒ全體ノ脈絡及ビ之ヲ貫ヌク精神ヲ明ラカニシ得ザルガ如キ弊ニ陥ラザルヲ要ス

- 七、國史、東洋史、西洋史相互ノ關聯事項特ニ近世以降ノ史實ヲ取扱フニハ緊密ナル連絡ヲ保チ徒ニ重複スルコトヲ避クベキハモトヨリ一面省略ニ過ギテ事歴ノ有スル意義ノ闡明ニ缺クルトコロナキヤウ留意スベシ
- 八、世界現代史ノ取扱ニハ國史トノ關聯ヲ重ンジ世界ノ視野ニ立チテ皇國民トシテノ自覺ヲ切實ナラシメ尙事態ノ推移ニ着目シテ適切ナル指導方法ヲ講ズベシ
- 九、適宜繪畫、寫眞、模型、圖表、地圖、年表等ヲ用ヒテ理解ヲ具體的ナラシメ併セテ國民的情操ノ涵養ニ資セシムベシ
- 十、教授事項ノ取扱ハ歴史ノ綜合的・具體的性格ニ鑑ミ項目各個及ビ全體ノ有機的構成ニ着目シテ教授方針ノ徹底ヲ期スベク各項目特ニソノ細目ニ就キテハ全體の趣旨ヲ悖ラザル限り多少ノ分合増減ヲ行ヒ且順序ノ變更ヲナスヲ妨ゲズ

經 國 科

教授方針

- 經國科ハ政治、經濟、地理ニ關スル具體的事象ノ解明ヲ通ジテ皇國及ビ皇國ヲ中心トスル世界ノ現實的情勢ヲ會得セシメ皇國臣民タルノ自覺ト識見トヲ涵養シ克ク經國濟民ノ任ニ堪フベキ材幹ヲ鍊成スルヲ以テ要旨トス
- 本科ハ便宜之ヲ政治、經濟、地理ノ三部門ニ分チテ教授スルヲ得ルモ各、専門學科トシテ單ナル學的體系ヲ教授スルコトナク高等學校教育ノ目的ニ鑑ミ獨自ノ見地ヨリ教授シ一體の關聯ニ於テ學習セシムルコトニ力ムベシ
- コレガ教授ニ當リテハソノ方針トスベキトコロ概ネ左ノ如シ
- 一、本科ニ於テハ皇國ハ國家ノ理想形體タルコトノ體認ヲ以テ根基トスベシ
 - 二、政治ニアリテハ國家並ビニ法ニ關スル說明ヲ通ジ國體ノ本義ヲ闡明シ皇國ニ於テハ國民モ國土モ國法モ凡テ天皇ニ歸スル所以ヲ會得セシムルト共ニ皇國政治ノ現勢ヲ明ラカニシテ大イニ皇謨翼贊ノ精神ヲ作興スベシ
 - コノ場合皇國ニ於ケル天皇ノ御統治ハ皇國ヲ無窮ニ生成發展セシメ萬邦ヲシテ各、ソノ所ヲ得シムルモノナル所以ヲ明ラカニシ皇國ノ世界新秩序建設ニ於ケル使命ヲ體得セシムルヲ要ス
 - 三、經濟ニアリテハ國民經濟ニ關スル知識ノ概略ヲ與フルト共ニ皇國ノ經濟思想ト經濟ノ實際トヲ說明シソレガ國體ニ基ツク所以ヲ具體的ニ明ラカナラシメ且經濟力ノ培養ニ貢獻スル重要ナル意義ヲ會得セシメ進ンデ皇國經濟ノ世界經濟新秩序建設ニ於ケル使命ヲ體得セシムベシ

コノ場合、經濟ガ皇國ノ道ノ具現タル點ニ鑑ミ、經濟ノ學習ヲ通ジテ皇國民タルノ自覺ヲ具體的ニ涵養スルヤウ工夫スルヲ要ス

四、地理ニアリテハ皇國ヲ主體トシテ世界ノ大勢ヲ地理的ニ考察セシメ我が國土ニ對スル理解ト愛トヲ深メ東亞及ビ世界ノ現勢ト皇國ノ地位トヲ明ラカニシ皇國ノ世界新秩序建設ニ於ケル使命ヲ體得セシムベシ
コノ場合國家及ビ文化ト自然トノ關係ヲ正シク理解セシメ以テ唯物論的見解ニ墮セシメザルヤウ留意スルヲ要ス

五、本科ニ於テハ特ニ演習ヲ活用シ生徒ヲシテ具體的、自發的ニ研習スル風ヲ振作スルニカムベシ

六、本科ニ於テハ皇國ノ古典ニ見ユル政治、經濟、地理ニ關スル思想ヲモ教ヘ生徒ヲシテコノ方面ヨリモ古典ニ親シマシムルヤウカムベシ

教授事項

地理

一、皇國ノ國土觀

東西古今ノ地理思想ヲ概觀シテ我が國獨自ノ國土觀ヲ明ラカニシ以テ地理學習ノ根柢ヲラシムベシ

二、皇國ヲ主體トスル世界誌

生徒ノ既得知識ヲ基礎トシ世界ノ諸事象ヲ地理的ニ把握シソノ動向ヲ明ラカナラシメ皇國ノ正シキ姿ヲ體得セシムベシ

特ニ大東亞共榮圈ニツキ詳細ナルコトヲ要ス

(1) 自然

水陸、氣候、生物等ヲ國家活動ノ一基礎トシテ説明シ世界ノ現狀ヲ把握スル基礎ヲラシムベシ

(2) 住民

人種、民族、人口、社會等ヲ國家活動ト關聯セシメテ地理的ニ説明シ併セテ植民、氣候馴化等ノ問題ニ論及ス
特ニ民族ニアリテハ政治的統一體トシテノ面ニ留意シテ具體的ニ民族生活ヲ説明シ以テ民族政策ニ關聯セシムベシ

(3) 交通

海陸空路ノ現狀ヲ具體的ニ説明シソノ政治經濟的意義ヲ述ブベシ

(4) 經濟

世界ニ於ケル資源、産業、勞力、通商等ヲ地理的ニ觀察シコレヲ通ジテ諸列強ノ政策ニ論及スベシ

(5) 國土

國家ノ形象、位置、國境等ノ概念ヲ授ケ更ニ國家ノ發展ヲ具體的ニ説明シ地理的見地ヨリ國家活動ヲ述ブベシ
尙國防、國土計畫等ノ問題ニ論及スルヲ要ス

三、皇國ト世界

以上ヲ綜合シ我方國土、國民ノ特性ヲ具體的ニ把握シ國民ノ郷土トシテノ理解ト愛トヲ深メ皇國ノ世界的地理

國科

位ヲ明確ニシ大東亞共榮團建設ノ使命ヲ體得セシムルコトニカムベシ

四二

- (1) 世界ノ大勢
- (2) 皇國ノ國土・國民
- (3) 皇國ノ使命

經濟

一、經濟ノ本質ト形態

國家トノ關聯ニ於テ經濟ノ本質ヲ明ラカニシ經濟ハ國民生活ノ一領域ニシテ國家ヲ基礎トシテ目的ニ從ツテ存立スル所以ヲ會得セシメ經濟ト道德、政治、法トノ關聯ニ留意スベシ

經濟ノ諸形態ニ就キテハ特ニ國民經濟ノ意義ヲ明ラカニスルコトニ意ヲ用フベシ

二、國民經濟ノ構造

國民經濟ノ構造ニ關スル基礎的知識ノ既略ヲ説明スベシ コノ場合コレラノ基礎的知識ノ相互關聯ニ留意スルト共ニ常ニ具體的事實ニ即シテ説明スベシ

- (1) 經濟組織
經濟組織ニ就キテハ特ニ自由經濟、統制經濟、計畫經濟ヲ明ラカニシ國防經濟ニモ言及スベシ
- (2) 生産、流通、分配、消費

(8) 財政

(4) 經濟發展

國民經濟ノ動態的知識ヲ與フベシ

(5) 經濟ノ統制

國家ガ經濟ニ積極的ニ關與スル關係ヲ詳説スベシ

三、經濟思想

近世西洋經濟思想ト比較シツツ日本經濟思想ヲ闡明シソレガ皇國ノ道ニ基ツク所以ヲ會得セシムベシ

四、日本經濟ノ構造

國家トノ關聯ニ留意シツツ我が國經濟ノ發達ト現狀トヲ説明シテ我が國經濟力ヲ認識セシムルト共ニ我が國經濟ノ構造ノ特質ヲ明ラカニスベシ 經濟ノ發達ニ就キテハ特ニ明治維新以後ノ發達ヲ説キ經濟ノ現狀ニ就キテハ(1)人口・資源、(2)産業、(3)金融・財政、(4)國民所得・國富、(5)經濟組織等ニ就キ説明スベク經濟ノ構造ノ特質ニ就キテハ特ニ經濟ト國體、郷土、家、風土トノ關聯ヲ會得セシムベシ

五、日本經濟政策

(1) 理念

日本經濟思想ト關聯セシメツツ經濟政策ノ理念ヲ述ベソレガ國體ノ顯揚ニ存スル所以ヲ明ラカニスベシ

(2) 經濟政策

經國科

四三

經濟政策ノ理念ト關聯セシメツツ特ニ現下ノ經濟政策ヲ説明シ統制經濟政策ノ全貌ヲ具體的ニ明ラカニスベシ

六、日本經濟ト大東亞經濟

日本經濟ヲ中心トスル東亞廣域經濟ノ全貌ヲ明ラカニスベシ
コノ場合大東亞經濟ノ構想、大東亞ニ於ケル民族、人口、資源、産業、金融、交易等ニ就キテ説明スベシ

七、日本經濟ト世界經濟

(1) 世界經濟ノ動向

日本經濟ト比較シツツ世界經濟ノ動向及ビ主要諸國ノ經濟ト經濟政策トヲ具體的ニ述ブベシ

(2) 日本經濟ト世界經濟新秩序

日本經濟ノ世界經濟新秩序建設ニ於ケル使命ヲ明ラカニスベシ

政 治

第一、皇 國

一、國家ノ本質

從來ノ抽象的國家觀ニ捉ヘルコトナク歴史の現實トシテ國家ヲ考察シ皇國ガ國家ノ理想形體タルコトヲ力説スベシ

(1) 人間、社會、國家

(2) 歴史的國家

(3) 皇 國

二、國家思想

我方國體ニ基ヅキテ東西ノ國家思想ヲ批判シ特ニ最近ノ思想動向ニ留意シテ嚴正ナル批判ヲ加ヘ我方國體ノ尊嚴ニ對スル信念ニ培ハシムベシ

三、皇 國

從來ノ國家三要素說ノ説明ニ陥ラザルヤウ注意スベシ

(1) 皇國ノ精神ト國體

神勅、國生ミ、八紘爲宇、祭政一致ノ精神ニ基ヅク皇國ノ本義ヲ明ラカニスベシ

(2) 天 皇

天皇ノ御本質、天皇統治ノ本義、皇室皇族ニツキテ述ブベシ

(3) 臣 民

臣民實質ノ本義ヲ明ラカニシミタミわれノ自覺ニ導クベシ

(4) 國 土

天皇ト國土トノ關係及ビ國土ト國民トノ關係ヲ明ラカニシ國土ガ皇國ト一體ナル所以ヲ知ラシムベシ

(5) 御稜威ト國民生活

御稜威ノ下ニ我ガ國民ノ全生活ガ光被セラレ居ル次第ヲ國防、教育、文化、厚生等各方面ヨリ明ラカニスベシ

第二、皇國ノ法

一、法ノ本質

天皇立法ノ本義ヲ明ラカニシテ法ト國體トノ不可分ナル所以ヲ説明スベシ

法ガ歴史の現實ト離レザル具體的秩序ナルコトヲ明ラカニスベシ

(1) 法ト國家及ビ國體

(2) 法ト歴史及ビ文化トノ關係

(3) 法思想

從來ノ個人主義的法思想ノ批判ニ重キヲ置クベシ

(4) 皇國ノ法ト憲法奉公

みことのりヲ基トシテ憲法奉公ヲ説クベシ

二、國意

皇室典範及ビ帝國憲法ト神勅、詔勅、御告文、憲法上諭等トノ一體性ニ留意シテ説クベシ

(3) 帝國憲法制定ノ精神

(3) 皇室典範ト帝國憲法

三、國法

(1) 國法ノ體系

實生活ニ即シタル具體的事象ヲ捉ヘコレニ關聯スル法規ヲ説明スルコトニモ留意スベシ

(2) 最近ノ法ノ動向

法ノ變遷ニ就キテモ説明スベシ

(3) 最近ノ法令(戰時法、經濟法等)

第三、皇國ノ現勢

例ヘバ國防國家體制、大東亞共榮圈ノ確立、世界新秩序ノ建設等重大ナル政治ノ現狀ニ就キテ説明シ皇國ノ使命ヲ明ラカニスベシ
コレガタメニハ明治維新以後ノ皇國政治ノ動向ヲ明ラカニスル要アルヲ以テ明治維新ヲ中心トスル歐米勢力東漸ニ對スル國民的自覺ノ確立、ソノ後ノ現實政治ノ動向特ニ第一次世界大戰後ニ於ケル世界ノ情勢ト日本、滿洲事變以後ニ於ケル政治ノ動向ト國民的自覺ノ昂揚等ニツキ述ブベシ

教授上ノ注意

一、本科ヲ通ジテ單ニ抽象的羅列の説明ニ陥ルコトナク常に具體的ニ説明シ具體的事實ノモツ意味ヲ明ラカナラシムルニカムベシ

尙絶エズ内外ノ情勢ニ注意シコレト關聯セシメテ教授スルヤウ心掛クベシ

經國科

- 二、本科ノ三部門ノ授業順序ハ生徒ノ理解力ニ鑑ミ地理、經濟、政治ノ順ト一應定ムルモ教授ノ實際ニ當リテハ或ハソノ順序ヲ變更シ或ハ一部門ヲ二學年ニ互リテ授クルモ之ヲ妨グズ
- 三、教授事項ノ各項ニ對スル授業時間ノ配當ニ就キ十分ニ留意スベシ 此ノ場合教授方針ノ徹底ヲ期スルタメ便宜ノ教授事項ノ多少ノ分合又ハ順序ノ變更ヲナスモ之ヲ妨グズ
- 四、本科ニ於ケル各部門相互ノ一體的關係ニ留意スルハ勿論 關係アル他學科トノ密接ナル連絡ニ注意スベシ 特ニ道義科、哲理科、歴史科トノ關係ヲ重視シコレヲ學科ノ擔任者トハ十分ニ連絡ヲ保ツヲ要ス 道義科ニ於テハ主トシテ皇國臣民タル信念ノ實踐的培養ニ力ヲ注グニ對シ本科ニ於テハ主トシテ具體的事象ノ解明ヲ通ジテ國體ノ本義ヲ闡明シ相俟テ皇國ノ道ノ修鍊ニ遺憾ナカラシムベシ
- 五、地理ニアリテハ事情ノ許ス限り實地指導ヲ行フベシ

哲 理 科

教授方針

哲理科ハ精神活動ノ諸法則竝ビニ國民性ノ様相・特質ニ關シテ明確ナル認識ヲ得シムルト共ニ精神活動ノ基礎ニ深到ナル省察ヲ加ヘ國體ニ淵源スル國民的世界觀ヲ醇化固成セシメ以テ皇國ノ大義ヲ宣揚シ大東亞新秩序建設ノ使命ヲ體得セシムルヲ以テ要旨トス

本科ノ内容ヲ哲學及ビ心理ノ二部門ニ分テタルハ精神活動ノ本質・様相ヲ究明スル方法ノ相異ルニ應ゼシメタルモノニ外ナラザルヲ以テ此ノ點ニ留意シテ緊密ナル全體的關係ノ下ニ本科ノ要旨ヲ達成スルヲ要ス

教授ノ方針トスベキトコロ概ネ左ノ如シ

- 一、哲學ニアリテハ窮極原理ヲ探究セントスル哲學的精神ヲ單ナル求知心ノ満足ニ終ルモノニアラズシテ現實ヲ指導スル根源ノ力ヲコトヲ理解セシメ更ニ人間ノ歴史的行爲ニシテ又ソノ所産タル文化諸現象ノ基礎ニ精到ナル反省ヲ加ヘ國民文化創造ノ眞精神ヲ會得セシムベシ ナホ進ンデ歴史の現實ノ反映トシテノ諸種ノ世界觀ヲ批判檢討シ我方國民的世界觀ノ意義ヲ闡明シ皇國ノ道ノ本義ニ徹セシムルト共ニ道義的國家ガ一切文化ノ極宗タル所以ヲ明ラカニシ以テ皇國ノ使命ガ道義的世界ノ建設ニ存スルコトヲ覺ラシムベシ

- 二、心理ニアリテハ具體的ナル人間生活ノ觀察ヲ通ジテ精神活動ニ關スル科學的認識ヲ得シムルト共ニ集團精神ニ關スル明確ナル理解ヲ與ヘ更ニ各國民各民族ノ特殊性ヲ明ラカニシテ我方國民精神ノ本質ヲ闡明シ以テ大東亞新

秩序ノ建設ニ參ズベキ指導的材幹ヲ鍊成ニ資セシムベシ

教授事項

哲學

一、哲學ノ意義

(イ) 窮極原理

(ロ) 哲學的世界觀ノ諸形態

(ハ) 實踐ト理論

二、知識ノ問題

(イ) 知識ノ構造

(ロ) 論理

(ハ) 自然科學ト文化科學

三、文化ノ問題

(イ) 文化ノ意義

(ロ) 文化ノ諸相

(ハ) 歴史ノ意義

四、國家ノ問題

(イ) 道德

(ロ) 國家

(ハ) 皇國ノ道

教授事項ノ要旨

一、哲學ノ意義

哲學ハ人生窮極ノ原理ヲ探究スル勳キニシテソノ窮極原理ヲ何ニ由リ何ニ求ムルニ至ルカハ歴史の現實ノ如何ニ依ルコトヲ明ラカニシ此ノ原理ニ據ツテ世界・人生ヲ觀スル所ニ哲學的世界觀ノ成立スル所以ヲ理解セシム而シテソノ諸形態トシテノ内外古今ノ世界觀ヲ取上ゲ之ヲ歴史ト現實トノ關聯ニ於テ説述シツツ之ニ慎重ナル批判的檢討ヲ加ヘ以テ國體ヲ窮極ノ據リ處トスル我々國民的世界觀ノ確立ニ資スルト共ニ哲學ハ現實ヨリ出デテ現實ヲ導ク實踐ノ規範タルベキ所以ヲ了得セシム

二、知識ノ問題

知識ノ構造・起源及ビ眞理性ノ問題ニ對スル正シキ解明ヲ與フルト共ニ確實ナル認識ニ到達スルタメ思惟ノ從フベキ諸法則トシテノ論理ニ論及シ知識ノ基礎ニ對スル明確ナル反省ヲ與フ而シテ西洋近世ニ發生セル科學的認識ノ方法ノ問題ヨリ自然科學ト文化科學トノ差異的特質及ビ兩者ノ關聯ニ説キ及ビ更ニ進ンデ科學的認識ノ限界ヲ説示シ科學ニ對スル哲學ノ意義ヲ明瞭ナラシムルト共ニ一般ニ學問ノ歴史性並ビニ實踐性ヲ強調ス

三、文化ノ問題

哲理科

文化ノ基礎ニ精到ナル哲學的反省ヲ加ヘソレガ人間ノ歴史の行爲及ビソノ所産タルコト並ビニソレガ國民文化トシテノミ眞生命ヲ有シ得ル所以ヲ明瞭ナラシメ藝術、宗教、政治、經濟等ノ諸文化相ヲ取扱フコトニヨツテソレゾレノ意義ヲ明ラカニスルト共ニ具體的ニ文化創造ノ精神ニ觸レシム。而シテカカル文化ノ相續發展ハ取モ直サズ歴史ニ外ナラザルガ故ニ進ンデ歴史ノ本質ヲ究明スルト同時ニ歴史ヲ創造スル根源ノ力ノ何タルカニ就キテ特ニ透徹セル洞察ヲ與ヘ以テ我方國民の信念ノ固成ニ資セシム

四、國家ノ問題

一切ノ文化ヲ窮極ニ於テ綜合統一スルモノハ單ナル理論ノ組織ニアラズシテ道ノ實踐即チ道德ニアリ。而シテソノ具體的顯現コソ國家ニ外ナラザルガ故ニ國家ハ道義ノ本源ナル所以ヲ闡明シ外國諸邦ノ歩ミ來レル道ト對比シツツ道義的國家タル皇國ノ道ヲ宣揚スルト共ニ皇國ノ使命ガ道義的世界ノ建設ニ存スルコトヲ證悟セシメ以テ皇國ノ歴史ヲ創造スベキ分擔者タルノ自覺ヲ深メシム

教授上ノ注意

- 一、教授ニ當リテハ常ニ高等學校ニ於ケル哲學教授ノ意義ヲ反省シ徒ニ煩瑣ナル抽象的論議ニ陥ルコトナク生徒ヲシテ實人生ニ對スル高キ識見ト深キ洞察力トヲ體得セシムルヤウカムベシ
- 二、言語ト論理、言語ト哲學トノ內面的關係ニ留意シ日本哲學ノ樹立ヲ期スル上ヨリ日本精神ノ具體的表現タル日本語ヲ以テスル思索ノ必要ナル所以ニ思ヒテ致シ宜シク國語ニヨリ獨自ノ思索ヲナサシムルヤウカムベシ
- 三、隨時我方國古典ノ思想並ビニ内外先哲思索ノ跡ニ親シマシムルヤウ留意スベシ

- 四、教授事項(一)ノ「哲學的世界觀ノ諸形態」ニ於テハ我方國、支那、印度及ビ西洋ノ哲學思想史ヲ概觀セシメ得ルヤウ特ニ考慮シ外國思想ノ特質ヲ十分理解セシムルト共ニ之ニ對スル批判的取捨ノ態度ヲ養フコトニカムベシ
- 五、教授事項(二)ノ「論理」ニ於テ概念、判斷、推理及ビ科學ノ方法等ノ問題ヲ取扱フニ當リテハ簡明ヲ旨トシ煩雜ナル學說ノ紹介羅列ニ陥ラザルヤウ注意スベシ
- 六、教授事項(三)ニ於テ國民文化ノ意義ヲ説クニ當リテハ儒教、佛教ガ我方國家ニ於テノミ眞生命ヲ獲得シ得タル所以ヲ反省セシムルヲ要ス
- 七、教授事項(四)ノ問題ハ道義科ト共通ナルヲ以テソノ取扱ヒニツキテハ特ニ該科ト緊密ナル連繫ヲ保テソノ主旨ノ徹底ニカムベシ
- 八、教授事項ハ適宜ニ分合増減ヲ施シ順序ノ變更、用語ノ更改等ヲナスヲ妨ゲザルモ全體の趣旨ニ悖ラザルヤウ注意スルヲ要ス
- 九、哲學ハ諸學ノ基礎ニ觸ルルモノナルヲ以テ常ニ他ノ諸學科トノ緊密ナル連絡ヲ怠ラズ以テ徒ナル重複ト混亂トヲ來サザルヤウ注意シ常ニ全體ノ有機的統一ヲ保ツコトニ意ヲ用フベシ

心理

教授事項

- 一、精神ノ一般的性質
- (イ) 精神ノ構造

哲理科

先天性ト後天性

身體ト精神

環境ト人間

(ロ) 精神ノ活動

環境ノ認識トソノ心理的構造

要求ノ性質トソノ諸關聯

行動ノ諸形態トソノ發展

(ハ) 精神ノ發達

年齡ニヨル發達段階

材能 傾性ノ發展

文化意識ノ發展

二、精神ノ差異的特質

(イ) 性格ノ構造

智能及ビ才能

氣質ト性格

(ロ) 性格形成ノ過程

人生觀・世界觀・國家觀ノ形成
自我・人格ノ完成

三、集團精神

(イ) 集團精神ノ一般的構造

(ロ) 集團ノ諸形態

(ハ) 指導者ノ性格

(ニ) 集團ノ發達

四、民族性、國民性

(イ) 民族性・國民性ノ意義ト構造

(ロ) 民族性・國民性ノ形成ト發展

(ハ) 世界諸民族ノ特質

五、國民生活ノ現實ト心理學

教授事項ノ要旨

一、精神ノ一般的性質

(イ) 精神ノ構造

人間ノ精神ハ單ニ個人的・家系的素質ノミナラズ又民族の素質ノ基礎ノ上ニ成立スルト共ニ風土的・歴史的・

哲理科

國家的ナル環境ノ規定ヲ受ケソレラ兩者ノ相互聯關ニ依ツテ形成セラルルモノナルコトヲ力説ス 殊ニ環境ト人間トノ關係ニツキテハ個人精神ガ一面環境ニ規定セラルルト共ニ他面自發性・創造性ヲ有シテ環境ニ働キカクル點ヲ高調シ精神ノ構造ヲ有機的・力動的・發展的ナルモノトシテ把握セシム

(ロ) 精神ノ活動

精神ノ活動ヲ先ヅ自然的環境ノ認識ヨリ説キ起シカカル認識モソノ際ノ人間ノ内的構造ノ規定ヲ受クル所以ヲ明ラカニシ更ニ又カカル認識ノ結果生ジタル内的状態ハ人間ヲシテ行動ヲ起サシメソノ結果ハ再ビ新シキ認識ヲ生ズルト云フガ如キ循環的過程ニ於テ發展シ行クコトヲ説ク 「環境ノ認識トソノ心理的構造」ノ項ハ主トシテ知覺ノ問題ヲ取扱ヒ「要求ノ性質トソノ諸關聯」ノ項ハ本能、意志、感情等ノ問題ヲ取扱ヒ「行動ノ諸形態トソノ發展」ノ項ハ行動ノ諸形態トソレガ經驗ニヨツテ如何ニ變容セラルルカノ問題即チ記憶、學習等ノ問題及ビソレラニヨツテ如何ニシテ新シキモノガ創造セラルルカノ問題即チ思考、想像等ノ問題ヲ取扱フ

(ハ) 精神ノ發達

精神發達ノ方向ニ個人的方面ト社會的方面トアリテシカモコレラ兩者ハ相互ニ作用ヲ及ボシ合ヒソノ結果信念アリ理想アリ實踐力ニ富ム人間ノ形成セラルル所以ヲ説明ス 「年齢ニヨル發達」ノ項ニ於テハ年齢的ニ見タル發達過程ノ大要ヲ知ラシメ「材能、傾性ノ發展」ノ項ニ於テハ特ニ社會性、政治性、統率性等ニ留意シツツ諸種ノ才能・能力・情操等ノ發達過程ヲ敘シ「文化意識ノ發展」ノ項ニ於テハ藝術、學問、道德、宗教等ニ關スル意識ノ發展ヲ説ク

二、精神ノ差異的特質

(イ) 性格ノ構造

精神活動ノ具體的表現トシテノ個性的人格ノ側面ヲ考察シ生徒各自ヲシテ自己及ビ他我ノ認識ヲ得シメ且自他認識ノ方法ヲ理解セシム 殊ニ性格ガ内的ナル精神傾性ヲ示スト共ニ環境、教育の狀況ト緊密ナル關聯ヲ有スルモノナルコトヲ力説ス

(ロ) 性格形成ノ過程

性格形成ノ條件及ビ過程ヲ理解セシムルト共ニ性格陶冶ノ方法ヲ示唆ス 殊ニ性格形成ニ對シテハ信念ノ確立ノ持つ意味ヲ明ラカニシ人生觀、世界觀、國家觀ノ把握サレユク發達過程ヲ説明シ又自我ガ個體的・孤立的ノモノニアラスシテ國民的基底ノ上ニ立ツモノナルコトヲ理解セシム

三、集團精神

(イ) 集團精神ノ一般的構造

集團精神ハ個人精神ノ單ナル總和ニアラスシテソレ自身有機的ナル構造ヲ有スル生ケル全一態ナルコトヲ説キ人間ノ各種集團ハ各ソレ自身ノ目的・理想ヲ有シ又ソレ自身ノ情熱・信念ヲ有シ現實的環境トノ關聯ニ於テソノ理想ヲ實現セントシテ活動スルモノナルコトヲ説明ス

(ロ) 集團ノ諸形態

人間集團ニハ無組織、無統制ノモノヨリ嚴密ナル組織ト統制トヲ有スルモノニ至ルマデ種々ノ形態ノ存スルコト

トヲ説キカカル集團ハソレゾレ獨自ノ傳統的精神、指導者、指導理念ヲ有スル時初メテ秩序アリ統一アル活動ヲ爲スヲ得ルモノナルコトヲ説明ス

(ハ) 指導者ノ性格

集團ニ於テ指導者ガモツ意味ヲ明ラカニスルト共ニ生徒ヲシテ史上竝ビニ現代ノ偉大ナル指導者ノモツ性格・才能等ニツキテ考察セシメ種々ナル場合ニ於ケル指導者タルニフサハシキ資質ニ關シテ明確ナル認識ヲ得シム

(ニ) 集團ノ發達

未開社會ニ於ケル社會ト個人トノ關聯ヨリ説キ起シ複雑ニ發達セル社會ニ於ケル文化ノ様相トソノ際ノ個人ト社會トノ關係ヲ考ヘ理想的ナル國家ノモツベキ性質ヲ示唆ス

四、民族性、國民性

民族性、國民性ヲ構成スルモノハ人種的・民族的素質ナルト共ニ又郷土、歴史竝ビニ傳統ナルコトヲ説キ更ニ進ンデ現在ノ世界諸民族・諸國民ノ特殊性ヲ把握セシメ特ニ我が國民性ニ對シテ深キ省察ヲナサシム

五、國民生活ノ現實ト心理學

最近發達シツツアル心理學ノ應用的諸部面(教育、政治、産業、刑事、醫事、國防、航空等)ニツキテソノ若干ヲ説明シ生徒ヲシテ國民生活ノ實際問題ニ關心ヲ起サシメコレニ對スル心理學的考察ノ態度ヲ養ハシム

教授上ノ注意

一、教材ノ選擇ニ當リテハカメテ人間性ノ積極面例ヘバ政治性、指導性、信念、情熱等ヲ問題トシ又進ンデ複雑高

等ナル精神機能例ヘバ諸種ノ文化意識ノ問題等ニモ論及スルコトヲ要ス

二、教授ニ當リテハ徒ニ歐米心理學者ノ業績ヲ中心トシテ之ヲ祖述スルノ態度ヲ採ルコトナク能フ限り廣ク日本人ノ研究業績ヲ採リ入レ又我が歴史上ノ事象、我が國ノ古典、我が國ノ文化、我が國ノ英雄・偉人・天才者ノ傳記的材料等ヲ豊富ニ採リ入ルルヲ要ス

三、青年期獨自ノ諸問題例ヘバ才能ノ問題、性格陶冶ノ問題、職業活動ノ問題、精神衛生ノ問題等ニ關シテハ特ニ深キ關心ト理解トヲ持チ之等課題解決ノタメニ援助ト指導トヲ與フルヲ要ス

四、必要ニ應ジテ教室ニ於テ實驗供養ヲ行ヒ又隨時生徒ニ課題ヲ與ヘ参考書ヲ指摘シテ自發的ニ研究セシムルヲ可トス 尙能フ限り實習ヲモ行フベシ

五、教授ニ當リテハ哲學ト緊密ナル關聯ヲ保ツベキハ勿論道義科、經國科ソノ他ノ諸學科トモ密接ナル連絡ヲナスヲ要ス

六、教授事項ハ適宜分合増減ヲ行ヒ且順序ノ變更ヲナスヲ妨ガザルモ全體の趣旨ニ戻ラザルヲ期スベシ

自然科

教授方針

自然科ハ自然科学ノ特質ト重要性トヲ認識セシメ科學的ナル考察處理ノ態度方法ヲ體得セシメテ之ヲ生活ノ實踐ニ導キ正シキ自然觀ニ根ザセル科學的精神ノ長養ニ資スルヲ以テ要旨トス

教授事項

次ノ諸事項ニ留意シテ數學及ビ自然科学ノ必要ナル基礎的知識ヲ與ヘ適當ナル材料ヲ選ビテ一貫性アル力強キ教授ヲナスベシ

一、科學的考察力ヲ涵養スルコト

主トシテ演習ノ形式ニヨリテ正確ナル觀察・類別、數量の處理(定量、統計、圖表等)、數學的思考等ノ能力ヲ養フ

若干ノ例ヲ示セバ左ノ如シ

讀圖(地圖・地質圖・設計圖ノ見方・使ヒ方)、生物・礦物・化石等ノ判別、植物ニ於ケル光週期性ノ實驗、芽ノ開舒促進ノ實驗、物理現象ノ觀測トソノ數學的整理、興味深キ數學ノ問題ノ考究等

二、事物現象ヲ概括的ニ把握スル能力ヲ養フコト

事物現象ノ様相・性質ノ要點ヲ簡明直截ニ擷ムコト、量ヲ大擷ミニ把フルコト、條件ヲ適當ニ省略シテ考察處理

自然科

ヲ爲シ易クスルコト等ノ練習ヲナサシム

例ヘバ運輸・増産・移住等ノ計畫・立案ヲナサシム必要ナル事項ヲ見落サザルコト、全局的ニ見テ各事項ノ輕重ヲ正シク判斷スルコト、概略ノ見積計算ヲ立ツルコト等ノ練習ヲナサシム

二、正シキ自然觀ヲ養成スルコト

自然ト人生トノ一體觀ニ立テ敬虔ニシテ眞摯ナル態度ヲ以テ貫ク我々國傳統ノ正シキ自然觀ヲ體得セシメコレニ基ツキテ國民的生活ヲ科學的ニ正シキ方向ニ指導セントスル態度ヲ涵養ス

四、基礎的研究ノ重要性ヲ知ラシムルコト

實際的要求ニヨリテ基礎的研究ガ促サレ偉大ナル成果ヲ生ミタル實例、一見迂遠ナル研究ガ廣汎ナル應用ヲ齎シタル實例ナドニツキテ説ク

若干ノ例ヲ示セバ次ノ如シ

空中望素ノ固定、化學療法、免疫、合金、微分法ノ發見、電磁波ノ發見ト現在ノ應用、X線ノ發見ト現在ノ應用、稀有ガスノ發見ト現在ノ應用、地震波ノ研究ト物理探礦法、染色體ノ研究ト育種、圓錐曲線ト天體ノ運動、微積分學ト物理學等

五、重要應用事項ノ概觀的知識ヲ與フルコト

動力資源及ビ生物礦物資源ノ應用ニツキテ實生活ニ關係深キ數事項ヲ選ビテ説ク

六、自然科學ノ最近ノ情勢及ビ將來ノ發展ニツキテ説クコト

科學ニ對スル關心ヲ深カラシムルタメ生徒ニ興味アリト思ハルル著シキ事例ニツキテ簡單ニ説ク

教授上ノ注意

一、教材ハナルベク實生活ニ關係アルモノ、生徒ニトリテ關心深キモノヲ選ブベシ

二、内外ノ偉大ナル科學者ノ業績・傳記ニ觸レ或ハ實驗ノ展示ヲ行ヒ或ハ實習ヲナサシムル等常ニ生徒ノ興味ト學究心トノ喚起ニ意ヲ用フベシ

三、嚴肅ニシテ規律アル能働的態度ヲ修練シ生物愛育、物資節約ノ念ニ培フベシ

四、術語ト日常語トノ限界ヲ明確ニシ曖昧ナル知識ノ濫用ヲ戒ムベシ

五、探險、調査、ソノ他所謂科學政策ニツキテモ適宜コレニ觸レ積極的ニシテ雄渾ナル科學精神ノ涵養ニ資スベシ

外國語科、文科第二演習及理科第三演習

教授方針

外國語科、文科第二演習及理科第三演習ハ外國語ノ正確ナル修得ヲ通ジテ諸外國ノ歴史・國民性・思想・藝術・自然等ニ就キテノ正シキ認識ト批判トヲ與ヘ諸外國ノ政治・經濟・科學・技術・軍事等ノ現狀及ビ動向ヲ明敏ニ洞察シ得ル素地ヲ固ムルト共ニ外國文化ノ中核ヲ究明シテ我國傳統文化ノ精華發現ニ貢獻セントスル態度ヲ涵養シ指導的人材タルニフサハシキ識見ノ長養ニ資スルヲ以テ要旨トス

教授事項

第一學年

未習ノ外國語

- 一、初歩ノ基本要項(發音、文法、講讀、作文、書取等)ヲ授ケ就中文法ニ習熟セシムベシ
- 二、文法ハ煩瑣ニ互ラス根幹的知識ヲ授ケ特ニ原語ノ特異ナル點(獨語ニアリテハ重要語尾變化、動詞ノ位置等佛語ニアリテハ動詞變化、代名詞等)ニ重點ヲ置クベシ
- 三、講讀ノ教材ハ基礎的語句ノ豊富ナル讀本ノ類ヲ選ビ第二學年以後ニ對スル確實ナル素地ヲ固ムベシ

既習ノ外國語

- 一、講讀ニ於テハ偉人ノ傳記、清純ナル文藝作品、平易ナル論說、隨筆等ヲ與ヘソノ間文法ノ基礎的訓練ヲ行
- 外國語科、文科第二演習及理科第三演習

フベシ

- 一、授業ハ單ニ章句ヲ解釋スルノミニ止ラズ之ヲ自由ニ活用シ得ルヤウ生徒ヲ指導スベシ 尙發音、強勢、抑揚、章句ノ連結ニ注意シ音聲ニ依ル發表及ビ理解ニモ習熟セシムベシ
- 三、平易ナル教材ヲ用ヒテ從來閑却セラレタル多讀ヲ強化スベシ

第二學年

- 一、未習ノ外國語ニアリテハ語學の基礎知識ヲ徹底補強シ前學年ヨリノ移行ヲ圓滑ナラシムベシ(例ヘバ文法ノ基本要項ノ復習補充、暗誦ノ督勵等)
- 二、講讀ノ教材ハ比較的平易ニシテ而モ道義的、情操的ニ生徒ノ熱情ヲ喚起スルガ如キモノヲ選ビ之ヲ味讀スルコトニ依リテ志操ノ醇化ニ資スル一方國情、國民性等ヲ知ルニ適當ナルモノヲ授ケテソノ國ノ現實的認識ヲ深ムル一助タラシムベシ(例ヘバ神話・歴史ニ關スルモノ、偉人ノ傳記、平易ニシテ内容アル思想的著作、興味アル紀行、清純ナル文藝作品、政治經濟技術等ニ關スル適當ナル教材)
- 三、既習外國語ニアリテハ前項ニ準ジテ稍、程度ヲ高ムルモノトス

第三學年

- 一、前學年ノ程度ヲ高メタルモノノ外古典的作品、文化科學自然科學ノ兩分野ニ互ル權威アル文獻ヲ選ビテ之ヲ授ケ知的陶冶ニ資スルト共ニ近代・現代ノ指導的良書ニヨリテ現下世界ノ動向(例ヘバ列強ノ世界政策、文化思潮ノ趨勢ノ如キ)ヲ闡明スル一助タラシムベシ
- 二、理科ニ關シテハ原則トシテ文科トノ差異ヲ認メザルモ特ニ自然科學的教材ヲ考慮スルモ可ナリ

演習

外國語演習ハソノ進展ニ從ヒ概ネ左ノ如キ順序ト方法トニヨリテ行フベシ

- 一、既習ノ語句ヲ應用シテ簡單ナル自由作文ヲ綴ラシメ或ハ既讀教材ノ全部又ハ一部ヲ隨時要約シテ之ヲ簡明ニ原語又ハ國語ニ表現スル等ノ練習ヲ行ハシム
- 二、適當ナル邦文ヲ教材トシ之ヲ翻譯セシメ以テ我國語トノ比較ニ於テ表現ノ異同ヲ知ラシム
- 三、他學科ト密接ナル關聯ヲ保チ海外諸國ノ國情國民性ヲ闡明スルニ必要ナル文獻ヲ選擇シ輪講、討論、宿題等ノ方法ニヨリソノ思想的內容ヲ全體的・具體的ニ把握セシムルヤウ指導ス(例ヘバ歴史科トノ關聯ニ於テハルネサンスヲ扱ヘル名著、經國科トノ關聯ニ於テハ歐米ノ東方政策ニ關スルモノ)

教授上ノ注意

- 一、從來ノ動モスレバ教授者自身ノ個人的嗜好ニ偏スル教材ノ選擇及ビ安易姑息ナル教授方法ヲ排シ教授者相互間ニ於テ教材全般ニ互ル有機的關聯ヲ圖リ前記ノ教授方針ニ則リテ清新ナル授業ヲ行フベシ 尙教材ノ取扱ヒ方ニ就キテモ日本の立場ヨリシ例ヘバ古典ヲ扱フ場合ニモ常ニ我國ノ歴史の現實ニ基ク嚴正ナル批判ノ上ニ立ツ可キモノトシ此ノ意味ニ於テ他學科トノ協調ヲ怠ラザルヤウ留意スルヲ要ス

外國語科、理科第二演習及ビ理科第三演習

- 二、講讀ニ際シテハ機械的ナル反譯、表面的讀過ヲ排シ原文ノ眞意ヲ捕捉セシムルタメニ外國語ニ特殊ナル思考方法・表現様式・音樂的要素ニ留意セシメ且隨時國語トノ比較ニ於テ考察シ以テ國語ニ對スル敬重ノ念ヲ高メソノ純正ナル發達ニ資スベシ
- 三、言語習熟ノ要諦ハ反覆練習ニアルヲ以テ豫習ヲ重ズルト共ニ從來閑却セラレ勝ナリシ復習ヲ強化シ既習ノ知識ヲ體得セシムルヤウカムベシ(例ヘバ習得セル箇所ニツキ質問ヲ發シ之ヲ筆記又ハ口頭ヲ以テ原語ニテ答ヘシムル等ノ方法ヲ工夫スベシ)尙正シキ音讀ノ重要性ニ留意シ自他ノ音讀中ニ内容ヲ理解シ得ルヤウ努力セシムベシ
- 四、既習ノ外國語ト未習ノ外國語トノ關聯ニ留意シ兩者ノ語句・文法等ノ異同ヲ指摘シ以テ未習ノ外國語ノ習得ニ資セシムベシ
- 五、教材ハナルベク讀了スルコトニ力メ授業時間數ノ制限ニ依リ其ノ一部ノ教授ニ止ルトモ殘餘ハ生徒ヲシテ進シテ自習シ讀書ノ喜ビヲ味ハシムルヤウ指導スベシ
- 六、辭書及ビ參考書ノ使用法ニ關シテモ適當ナル指導ニヨリ自發的勉學ヲ獎勵シ進シテ原語辭書ノ使用ニ習熟セシムルヤウカムベシ
- 七、外國語科、文科第二演習又ハ理科第三演習ヲ通算シテ第一外國語ト第二外國語トノ時間數ノ配當ハ次表ヲ標準トスベシ 但シ次表ハ演習ノ一回ヲ二時間トシテ換算セルモノナリ

文科

既習ノ外國語ヲ第一外國語トスル場合

	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語	一九〇	一六〇	六〇
第二外國語	一二八	一二六	四六
計	三二八	二八六	一〇六

未習ノ外國語ヲ第一外國語トスル場合

	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語	二二二	一九〇	七〇
第二外國語	九六	九六	三六
計	三一八	二八六	一〇六

理科

既習ノ外國語ヲ第一外國語トスル場合

	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語	一二七	一二七	四七
第二外國語	一二七	一二七	四七
計	二五四	二五四	九四

未習ノ外國語ヲ第一外國語トスル場合

	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語	一九〇	一九〇	七〇
第二外國語	六四	六四	二四
計	二五四	二五四	九四

外國語科、文科第二演習及ビ理科第三演習

Handwritten calculations and notes:

190
380
12/30
130
120

文科第一演習

指導方針

文科第一演習ハ諸學科ニ於テ習得シタル知識ヲ綜合的ニ活用シテ知識ノ一體化ト實際化トヲ圖リ自發的・共同的・實踐的ナル學習ノ態度ト師弟同行ノ精神トノ徹底ヲ期シ國家ノ重キニ任ジ古典ノ精神ヲ今日ニ生カシ大東亞新秩序建設ニ挺身スベキ人材タルニフサハシキ識見・信念・氣魄・情操ヲ涵養スルヲ以テ要旨トス

指導事項

一、古典講讀

指導ニ當リテハ煩瑣ナル註釋ニ偏セズ濫讀ニ墮セズ古典ノ精神ノ體得ニヨリテ今日ノ課題ヲ解決スルノ能力識見ヲ長養スルトトモニ現實ノ問題ニ關シ切實ナル反省ヲ行フコトニヨリテ初メテ古典ノ精神ヲ今日ニ生カシ得ル所以ヲ會得セシメ古ヲ稽ヘテ今ヲ照スヲ以テ學問ノ本旨トスルモノナルコトヲ認識セシムベク隨時講義解説、輪講討論、研究報告等適切ナル方法ヲ採用シテ生徒ノ自發的思索味解ノ増進ヲ期スベシ

講讀ニ用フベキ典籍ハ詔勅、御製、史書、忠良賢哲偉人烈士及ビ優レタル藝術家ノ述作・傳記、ソノ他國體ノ觀念ヲ明徴ニシ先哲ノ風格經綸ニ觸レシメ國民的信念及ビ情操ヲ啓培スベキモノヲ選ブベク古典科ノ教授事項中ニ例示セルモノ及ビ左記ノ例示ヲ併セ参考トスベシ

(一) 歷代詔勅、祝詞

文科第一演習

- (二) 憲法十七條、令義解、令義解、憲法義解、貞永式目
 - (三) 武將ノ家訓、壁書等
 - (四) 類聚國史、大鏡、愚管抄、大日本史、大日本史實錄、日本外史ソノ他ノ史籍
 - (五) 維新勤王志士、水戸學關係者及ビ契沖、荷田春滿、賀茂眞淵、本居宣長、平田篤胤、大國隆正、玉松操、熊澤伯權、本多利明、林子平、吉田松陰、橋本左内、横井小楠、佐久間象山、二宮尊徳、佐藤信淵、細井平洲、中江藤樹、廣瀬淡窓、石田梅巖、山鹿素行、松宮觀山、宮本武藏、杉田玄白、高野長英、大槻盤水、平賀源内等ノ著述並ビニ傳記
 - (六) 伊勢神道、吉田神道ソノ他神道家ノ著述並ビニ傳記
 - (七) 元亨釋書、正法眼藏隨聞記、歎異抄ソノ他高僧ノ法語並ビニ傳記
 - (八) 元田永孚、佐々本高行、杉浦重剛等ノ御進講録、著述並ビニ傳記
 - (九) 陸奥宗光、近衛篤麿、小村壽太郎、後藤新平ソノ他東亞經綸ニ就キテノ先覺者ノ著述、書翰並ビニ傳記
 - (十) 和歌、俳諧、物語、隨筆、歌論、俳論、藝術論
 - (十一) 岡倉天心、幸田露伴、森鷗外、夏目漱石等ノ著述
 - (十二) 孝經、孫子、近思錄、傳習錄、小學、杜詩、菜根譚ソノ他古來國民精神ノ涵養ニ資シ來リタル漢籍
- 二、特殊問題研究
- 指導ニ當リテハ皇國ノ使命ニ鑑ミ廣ク皇國民練成ノ目的ニカナフベキ題目ヲ選ビ講義、報告、討論等適切ナル方

法ヲ採用シ國家活動、國民生活各般ノ問題ニ關シ宏博ナル視野ヲ開キ深遠ナル思索ヲ練リテ國民ノ指導者タルノ職見信念ヲ涵養スルコトニカムベシ

ソノ題目ヲ例示スレバ左ノ如シ

神道思想ノ發達、日本佛教ノ特質、我が國ノ家族制度、日本法制史、聖德太子ノ御事蹟、元寇、日本人ノ海外發展、アジアノ歴史の・風土の性格、國語問題、世界各國ノ地理の性格、人口及ビ植民問題、國土計畫、東亞諸民族ニ關スル民族學の知識、東亞諸民族ノ政治的動向、各國ノ民族政策、華僑論等

財政問題、我が國經濟ノ發達、最近ノ經濟事情、戰爭ト經濟、最近ノ法令、戰術戰略論、國防問題、總力戰等

三、藝術鑑賞

我が國古來ノ造形美術及ビ音樂、演劇ソノ他ノ藝道ノ鑑賞ニヨリテ皇國文化ノ精華ヲ端的ニ感得セシメ藝術鑑賞ノ正シキ態度ヲ指導スルト共ニ我が國ノ藝術の傳統ノ優秀ナル所以並ビニ國民生活ト藝術トノ統一關係ヲ明ラカニシ高雅ニシテ健全ナル國民的情操ヲ涵養シ文化創造ノ源泉ニ培フベシ

指導ニ當リテ特ニ留意スベキ諸點左ノ如シ

- (イ) 作品及ビ藝能ノ鑑賞ニ伴フ作法ヲ重シ敬虔ナル態度ヲ以テ之ニ接シソノ氣韻ヲ感得セシムルコト
- (ロ) 作品及ビ藝能ノ生レタル由來ニツキテ説クト共ニソノ歴史の意義ヲ考察セシメ藝術創造ノ精神ヲ感悟セシムルト共ニ藝術ニ於テ傳統精神ト國民生活ノ現實トヲ統一セラレ居ル所以ヲ明ラカニスルコト
- (ハ) 我が國ノ藝術ト歐米ノ藝術及ビ東亞共榮圈各地域ノ藝術トノ比較檢討ニヨリテ我が國ノ藝術の傳統ノ優レ

タル特質ヲ明ラカニスルコト

七四

- (ニ) 古典講讀、見學、調査等ノ指導ト緊密ナル連絡ヲ保タシムルコト
 - (ホ) 鑑賞指導ノ補助トシテ適宜幻燈、蓄音器、寫眞、ラジオ、映畫等ヲ利用スルハ可ナルモコレヲ以テ藝術ノ鑑賞ノ本體トセザルコト 殊ニ(イ)ノ注意ニ鑑ミコレヲ輕率ナル濫用ヲ戒ムルコト
- 但シラジオ及ビ映畫等ニ對シテハコレヲガ大東亞共榮圈建設戰上ニ貢獻シツアル重大ナル役割ヲ認識セシメテコレヲ積極的ニ活用セントスル態度ヲ指導スルコト
- 四、見學、實習、調査

具體的事象ニ即シテ國史國土ノ精髓、國民精神ノ精華、國家ノ現勢ヲ把握セシメ國民ノ指導者タルノ識見信念ノ涵養ニ資スルト共ニ眞摯ニシテ敬虔ナル態度ト精緻ニシテ全體の判斷ヲ誤ラザル思索トニヨリテ學問ノ體得ノ行ハルルモノナルコトヲ悟ラシムベシ

指導ニ當リテハ適當ナル項目ヲ選ビ適切ナル豫備知識ヲ授ケテ見學ヲ行ヒ又自然科ト密接ナル連絡ノ下ニ心理、地理等ニ關スル簡易ナル實習ヲ課スルノ外特殊ナル項目ニ就キテハ相當長期間ニ互ル調査ヲ行ハシムル等地方ノ特色ヲ活カシ生徒ノ興味ヲ喚起シテ實踐的學風ヲ振起スルヤウカムベシ

ソノ項目ヲ例示スレバ左ノ如シ

見學
附近ノ古史蹟、名勝、近郷ノ社寺及ビソノ寶物・祭祀・法會・郷土ノ特殊行事、博物館、各種企業、工場、礦

山、各種ノ研究所、議會、病院、刑務所、裁判所、社會施設等

實習

地理實習(讀圖、作圖、統計處理)

心理實習(智能検査、性格判斷等)

調査

方言採集、地方史資料採集、社寺及ビソノ祭祀・法會ノ沿革ニ關スル調査、農村生活調査、都市生活調査、各地經濟事情・企業・生計・財政・慣習法等ニ關スル調査、學生ノ生活並ビニ健康ニ關スル調査

指導上ノ注意

- 一、演習ノ實施ニ當リテハ學級ヲ單位トシモシクハ少數ノ生徒ヲ一班トシテ之ヲ課シ共同研究ノ實ヲ舉グベシ
- 二、演習題目ハ同一學年ノ各學級又ハ各班ヲ通ジテ必ズシモ同一ナルコトヲ要セズ 但シソノ選定ニ當リテハ一部分ニ偏セザルヤウ留意スベシ
- 三、演習計畫ノ決定及ビ實施ニ當リテハ各科教官ノ緊密ナル連絡協力ヲ要ス 尙特殊ノ題目ニ關シテハ臨時ノ講師ヲ委囑スルモ可ナリ
- 四、演習ノ實施ニ當リテハ道義科及ビ體鍊科ハ無論課外ノ修練組織トモ密接ナル連絡ヲ保チ級學訓練、勤勞作業ヲハシメ生徒ノ生活訓練ノ徹底ヲ期スベシ
- 五、指導事項ノ配分ニ關シテハ次表ヲ參考トシ各校ノ事情ニ應ジ適宜斟酌ヲ加フベシ

文科第一演習

七五

指導事項	第一學年	第二學年	第三學年	備考
古典講讀	一八	二〇	八	
特殊問題研究	一四	一八	一〇	數字ハ同數ヲ示ス、一回ハ二時間ヲ標準トス
藝術鑑賞	八	一〇	四	實習ハ主トシテ第一學年ニ於テ行フモノトス
見學、實習、調査	八	一六	八	
計	四八	六四	三〇	

數 學 科

教授方針

數學科ハ直觀ト論理トヲ一體トシテ數、量、空間ニ關スル基礎的ナル概念及ビ研究方法ヲ體得セシメ數理ヲ探究シ活用セントスル態度ト事物現象ヲ正確ニ考察シ處理スル能力トヲ鍊磨シテ國力ヲ増進シ大東亞新秩序ヲ建設スベキ實踐力ト獨創力トノ根基ニ培ヒ科學的精神ヲ涵養スルヲ以テ要旨トス

本科ノ内容ヲ數學及ビ製圖ノ二部門ニ分チタルハ緊密ナル全體的關聯ノ下ニ於テ各ノ擔當スベキ役割ヲ十分圓滑ニ發揮セシメンガタメニ外ナラズ 教授ニ當リテハ常ニコノ點ニ留意シテ本科ノ要旨ヲ達成スルヲ要ス 教授ノ方針トスベキトコロ概ネ左ノ如シ

一、數學ニアリテハ先ヅ直觀ヲ重ンジテ大綱的概念ヲ導入シ之ヲ融合的ニ活用セシムルコトニ力ヲ注ギ漸次嚴正ニ數理ヲ取扱ヒ深ク數理ヲ追求セントスル態度ト正確ニ事物ヲ考察スル能力トノ鍊磨ニ進ムト共ニ隨時實際的ノ例ヲ舉ゲテ數學ト他ノ學科トノ關聯ヲ明ラカニシ應用力ノ涵養ニカムベシ 特ニ演習ヲ重視シテ數理ノ運用ニ習熟セシメ且自發的研究心ノ喚起ヲ期スベシ

二、製圖ニアリテハ事物ノ形態ヲ平面上ニ正確ニ畫ク方法技術ヲ修練セシメ空間的事象ヲ考察シ處理スル能力ヲ鍊磨シ之ヲ生活ノ實踐ニ導クヤウカムベシ 特ニ讀圖能力ノ養成ニ留意シ又諸種ノ圖式解法ノ修練ヲモナサシムベシ

數 學

數 學 科

教授事項其ノ一 (第二學年第二學期及第三學年ニ於テ數學科ヲ選擇履修スル者ト數學科及ビ博物科ヲ選擇履修スル者トニ共通シテ課スル事項)

第一學年(講義約九〇時間、演習約二五回)

第一類(講義約五〇時間、演習約一四回)

- 組合セ
- 公式ヲ導ク程度ニ止メ數學的歸納法ニモ及ブ
- 順列、組合セ
- 二項定理、多項定理
- 導函数ト其ノ應用
- ナルベク具體的ノ例ヲ以テ平易ニ説明シ且物理學等ヘノ應用ニ留意ス
- 微分法
- 函数値ノ變動、極大極小
- 平均值ノ定理
- テールノ定理トソノ應用(級數ノ收斂性ニ觸ルルコト)
- 方程式ノ實根ノ近似值
- 無限小、微分
- 不定積分及ビ簡單ナル微分方程式
- 不定積分ノ基本的方法ヲ授ケ簡單ナル例ニ就キテ微分方程式ノ大意ヲ會得セシム

第二類(講義約四〇時間、演習約一四回)

- 三角函数
- 平面上ノ直角座標
- 三角函数ノ値ノ變動
- 加法定理
- 三角形ヘノ應用
- 線ト方程式
- 平面内ニ於ケル直線ノ方程式ノ取扱ヒヲ主トシ線ト方程式トノ關係ヲ明ラカナラシム
- 直線、二直線
- 極座標
- 線ノ助變數表示
- 圓、圓錐曲線
- 複素數
- 複素數ノ演算
- 幾何學的表示
- 二項方程式
- 三角函数トノ關係

定積分トソノ應用

第二學年(講義約八〇時間、演習約二五回)

第一類(講義約四〇時間、演習約一二回)

- 多變數函数
- 偏微分法
- 偏微分及ビ全微分
- 陰函数
- 變數ノ變換
- 曲線及ビ曲面(切線、切平面等)
- 重積分トソノ應用
- 線積分ニ及ブ可トス
- 確率、最小自乗法
- 統計
- 抽象的理論ニ走ラズ生物學、社會事象等ニ直チニ適用シ得ルヤウ留意ス

數學科

空間圖形

- 直線ト平面、多面體
- 球面三角形、立體角
- 空間圖形ノ方程式
- 第二學年第一類ノ教授ニ必要ナル程度ニ止ム
- 直線・平面ノ方程式
- 極座標
- 二次曲面ノ標準方程式

第二類(講義約四〇時間、演習約一二回)

- 行列式
- 圓錐曲線
- 解析的方法ノ運用ニ習熟セシメ又座標軸ノ變換ト圖形ノ移動トノ關係ヲ一體的ニ把握セシム
- 直線及ビ平面
- 直線、平面ノ相互關係ヲ解析的ニ取扱ヒ二次線織面ニ及ブ
- 平面曲線
- 特異點
- 漸近線
- 曲率、曲率圓
- 縮閉線、伸開線、包絡線等

平均、偏差
相關關係

特殊曲線
平面圖形ノ射影的性質
空間圖形ノ截斷トシテ平面圖形ノ射影的性質ヲ導ク
射影及ビ截斷
直圓錐・直圓錐ノ截斷
圓錐曲線ノ射影的性質
計算圖表ノ原理

教授事項其ノ二(第二學年第二學期及ビ第三學年ニ於テ數
學科ヲ選擇履修スル者ニノミ課スル事項)

自第二學年第二學期至第三學年(講義約四〇時間、演習約一二回)

整式

因數分解、實係數整式

ユークリッド互除法

對稱式、交代式

判別式、終結式

三次・四次方程式

特殊有限級數ノ和

極限及ビ連續性

無理數論、定積分ノ存在等ニ觸ルルモ可ナリ

無限級數ノ收斂・發散

累級數トソノ微積分法、初等函數ノ展開

有理函數ノ積分

常微分方程式ノ初等的解法及ビソノ應用

教授上ノ注意

一、同一學年ノ第一類第二類ノ授業ハ同一教官ガ擔當スルコトヲ原則トス 二教官ガ分擔スル場合ニハ特ニ兩類ノ
連繫ニ留意スベシ

二、教授事項ハ當該學年內ニ於テソノ排列ニ就キテ多少ノ變更ヲナスモ可ナリ 但シ理化學科物理ト緊密ナル連繫
ノ下ニ立案排列シアルヲ以テソノ變更ニ當リテハ此ノ點ヲ特ニ考慮スルヲ要ス

三、空間及ビ圖形ノ考察ニ於テハ綜合的、解析的、運動學的諸方法ノ融合ニ留意スベシ

四、ベクトル、群、行列等ニ就キテハ適宜ノ箇所ニ於テソノ概念ヲ簡單ニ與フルモ可ナリ

五、初等函數ノ展開ヲ授クル際ニ e^{ix} ト三角函數トノ關係ヲ示シコレヲ微分方程式ノ解法ニ適用スルヲ可トス

六、演習ハナルベク講義トソノ内容ヲ平行セシムルヲ立前トス 但シ特ニ演習トシテ課スル必要アル事項ニ就キテ
ハ講義ト獨立ニ之ヲ課スルモ可ナリ

七、演習ハ一回二時間ヲ標準トナスモ實際ノ教授ニ當リテハ必要ニ應ジ之ヲ一時間宛二回ニ分ケテ行フモ可ナリ

- 八、演習問題トシテハ其ノ問題ノミニテ完結セズ其ノ中ヨリ順次ニ新シキ問題ニ展開スルガ如キモノヲ多數加フベシ
- 九、左記ノ事項ハ演習ニ於テ適當ナル箇所ニテ取扱フヲ可トス
 - 三角形ノ解法、ホーナーノ方法、高位ノ無限小ノ省略ニヨル近似計算、誤差ノ見積リ、不定形、空間曲線ノ長さ、質量ノ中心、フリーエー級數、曲線ノ追跡、統計表ノ處理、直截線等
 - 尙 三角方程式、不等式等ハ隨時必要ニ應ジ取扱フベキモノトス

製圖

教授事項

時數ノ配分ハ回數(一回二時間ヲ標準トス)ヲ以テ示シタルモ實際ノ教授ニ當リテハ必要ニ應ジ一時間ノ授業ノ方式ヲトルモ可ナリ

第一學年(約三二回)

一、製圖概論(約二回)

- 圖面ヲ畫クニ必要ナル豫備知識ヲ與フ
- 製圖ノ意義及ビ目的
- 製圖用具
- 製圖用文字及ビ線

二、正投影圖(約三〇回)

- 正投影圖ヲ數多ノ練習問題ニツキ反覆修練セシメ以テ立體觀念ヲ確實ニ把握セシム
- 點及ビ直線ノ投影
- 平面及ビ平面圖形ノ投影
- 多面體ノ投影
- 曲線及ビ曲面ノ投影
- 面ノ切觸ト切平面
- 立體表面ノ展開
- 立體ノ截斷

第二學年(約三二回)

三、透視圖(約六回)

消點、測點等ヲ用ヒテ透視圖ヲ畫ク方法ヲ修練セシム

四、實用製圖(約一〇回)

實用製圖ノ諸種ノ方式及ビ規約ヲ説明シ正シキ圖ヲ畫ク修練ヲ行ハシム。ソノ方法トシテハ例ヘバボルト及ビナット、鋸、コック及ビ瓣、軸接手及ビ軸受、齒車、カム、バネ等ノ機械圖及ビ建築圖等ノ寫圖ヲ行ハシメ或ハ實物ヲ與ヘテソノ見取圖ヲ畫カシム。又逆ニ圖面ヨリ透視的見取圖ニ直スガ如キ問題ヲ課シテ讀圖能力ヲ養成セシム

尙コノ際前記機械部品ノ一通リノ作用、目的、材料、製作法等ニツキ簡單ナル説明ヲ與ヘ生徒ノ興味ヲ喚起セシムルト共ニ常識ノ涵養ニ資ス

實用製圖ノ概念

圖示法(第三角法及ビ第一角法)

製圖方式(製圖ノ尺度、線ノ用法ト太サ、断面表示法、略圖法、寸法ノ記入法等)

寫圖練習

見取圖練習

五、正投影圖(續)(約一二回)

正投影圖ノ比較的應用ニ屬スル畫法ノ修練ヲ行フ

立體ノ相貫

陰影

六、特殊平面曲線(約四回)

渦線及ビ擺線等ノ特殊平面曲線ノ畫法ヲ修練セシメ且齒車ノ齒形曲線ニ伸開線及ビ擺線ヲ使用スル所以ヲ簡單ニ述ベテソレヲ畫カシム

第三學年(約一二回)

七、圖式解法(約一二回)

諸種ノ圖式解法ヲ述ベテソノ畫法ヲ修練セシム

計算圖表

圖式積分

圖式微分

質量ノ中心及ビ慣性能率ノ求メ方

圖式力學

教授上ノ注意

一、墨入圖ノ修練ハ少數枚數ニ止メ普通ハ鉛筆圖ヲ以テ修練セシムルヲ可トス

二、平面幾何畫法、圓錐曲線ノ性質及ビ畫法ニ就キテハ製圖ニ於テ特別ノ項ヲ設ケテ解説スルコトナク中等學校ニ於テ修メタル知識及ビ數學ニ於テ學ビタルトコロヲ活用セシメ必要ニ應ジ隨時説明ヲ加フル程度ニ止ム

三、實用製圖ノ方式ハ日本標準規格製圖方式ニ據ルモノトス

四、圖式積分ハ曲線ノ面積ヲ求メ又圖式微分ハ曲線ノ切線ヲ求ムル程度トス

五、圖式力學ニ於テハ先ヅ力ノ合成及ビ分解ヨリ始メテソノ原則ヲ略說シ之ヲ適用シテ橋梁等ノ構造物ノ部材ニ作用スル力ヲ求メシム

六、成ル可ク平面投影圖、等角投影圖、斜投影圖ニツキテモ略說スベシ

七、第二學年第二學期及ビ第三學年ニ於テ數學科及ビ博物科ヲ選擇履修スル者ニアリテハ實用製圖マデヲ以テ終了

數學科

八、説明ニ使用スル時間ト實際製圖ニ使用スル時間トハ略シ同一トスルヲ標準トス

理化學科及ビ理科第一演習

教授方針

理化學科及ビ理科第一演習ハ物質現象ニ關スル研究方法ト知識トノ基礎ヲ體得セシメ理法ヲ探求シ活用セントスル態度ト科學的ナル考察處理ノ能力トヲ鍊磨シテ國力ヲ増進シ大東亞新秩序ヲ建設スベキ實踐力ト獨創力トノ根基ニ培ヒ科學的精神ヲ涵養スルヲ以テ要旨トス

- 本科ノ内容ヲ物理及ビ化學ノ二部門トナスハ物理的及ビ化學的考察ノ各ノ特色ヲ十分會得セシメンガタメニ外ナラズ 教授ニ當リテハ常ニコノ點ニ留意シ緊密ナル全體の關聯ノ下ニ本科ノ要旨ヲ達成スルヲ要ス 教授ノ方針トスベキトコロ概ネ左ノ如シ
- 一、徒ニ教授内容ノ量的充實、體系的整備ニ流ルルコトナクソノ質的充實ヲ重視シ實驗的、理論的研究ノ精神ヲ會得セシムルコトニ力ヲ致スベシ
 - 二、綿密慎重ナル研究の態度ヲ體得セシムルト共ニ事物現象ヲ要約的・全體的ニ把握スル能力ヲ涵養スベシ
 - 三、適當ナル事項ニ就キテハ徹底的追求ヲナサシメテ生徒ノ研究心ヲ振起スベシ 又先人ノ發見發明ノ由來ヲ説キ或ハ未解決方面、新應用方面ニ對スル示唆ヲ與ヘテ之ヲ論ゼシムル等適切ト認ムル方法ニヨリ獨創力、應用力ヲ啓發スルコトニカムベシ
 - 四、原理、法則等ノ説明ニ當リテハコレヲ既定ノモノトシテ取扱フコトナク批判的ニ事實トノ關聯ヲ明ラカニシ

理化學科及ビ理科第一演習

- 以テ徹底セル理解ヲ得シムベシ
- 五、機械・計器ノ説明ニ當リテハ單ニソノ原理ノ説明ニ止マラスソノ製作過程、性能、利用範圍、取扱上ノ注意等ニ關シ適正ナル知識ヲ與フベシ
 - 六、重要物質ニツキテハ資源トソノ利用ニ關シ國防並ニ産業ノ見地ヲ重ンジテ適正ナル知識ヲ與フベシ
 - 七、物理的並ビニ化學的知識ノ統合ヲ圖ルハ勿論他學科トノ關聯ニ留意シ常ニ知識ヲ綜合的ニ活用スルコトノ修練ヲナサシムベシ

物理

教授事項

第一學年(約三十五時間)

必修事項	選擇事項ノ例
一、長さノ測定 二、熱現象 三、力の釣合	長サノ單位(原器)―面積、體積、角溫度 熱膨脹(中) 熱量、比熱(中)―(原子熱及ビ分子熱(簡)) 熱ノ移動―熱傳導(演) 質點及ビ剛體(質量中心ノ計算(數)) 彈性體―フックノ法則、彈性常數、振リ撓ミ
流體―靜止流體ノ壓力 實在物體ノ彈性、可塑性、破壊表面張力(演)	氣壓ト高サトノ關係(演) 種々ノ壓力計 材料ノ強サ、土木・建築等ニ於ケル應用 厚肉レンズ 虹 寫眞器 眼 距離計 レンズノ製作過程

第二學年(約九十五時間)

必修事項	選擇事項ノ例
四、光線 五、質點ノ運動	相對運動 振動ノ合成 表面エネルギー 歪ノエネルギー 太陽系、ケプラーノ法則、キャベンデーシユノ實驗
時間―時間ノ單位、時計 運動ノ法則―質量及ビ力ノ絕對單位 運動量ト力積 仕事及ビエネルギー、保存力、ポテンシャル 質點運動ノ例―拋物體ノ運動、束縛運動、單振動、減衰振動、強制振動、萬有引力	反射(中)―球面鏡 屈折(中)―プリズム、薄肉レンズ及ビソノ組合セ 分散 収差(演) 光度及ビ照度 光學器械―虫眼鏡、顯微鏡、望遠鏡、分光計

理化學科及ビ理科第一演習

- 六、流體ノ運動
- 七、剛體ノ運動
- 八、熱理論
- 九、氣體運動論
- 一〇、單位系ト元
- 一一、確率及ビ統計
- 一二、靜電氣
- 一三、磁氣

完全流體—ベルヌーイノ定理
 實在流體—粘性
 流體中ニ於ケル物體ノ運動
 質點系
 固定軸ノ週リノ剛體ノ運動—慣性能率ノ計算(演)
 平面運動
 衝突及ビ摩擦
 熱力學第一法則
 熱力學第二法則
 エントロピー
 完全氣體ノ理論
 絕對單位系ト實用單位系、次元式
 自然現象ノ統計的取扱(演)
 電荷
 導體
 眞空中ノ電場
 電媒質中ノ電場
 電位計(演)
 眞空中ノ磁場

渦現象
 ボアスイユノ定理
 飛行機ノ力學(簡)
 撃力ニヨル剛體ノ運動
 潤滑
 地震計
 天秤
 三態ノ變化、クラペイロンノ式
 實用熱機關
 大氣中ノ水蒸氣
 ファンデルワールスノ狀態式
 壓電氣トソノ應用
 絶縁體ノ電氣漏洩
 破壊電壓
 絶對電位計
 永久磁石及ビ磁石鋼

- 一四、定常電流
- 一五、電流ト磁場
- 一六、電磁感應

磁氣感應度、磁化ノ強サ
 強磁性體—磁氣履歴現象
 常磁性體及ビ反磁性體
 地磁氣
 オームノ法則
 電氣抵抗—金屬及ビ電解質、溫度ニヨル抵抗ノ變化
 キルヒホッフノ法則—ホイットストーン橋、電位差計
 ジュール熱
 接觸電位差ト電池ノ動電力
 熱電氣
 [電氣分解及ビ電池各論(化)]
 ビオー・サバルノ法則—磁場ノ強サノ計算(演)
 電流ニ基ツク磁位
 磁場ノ電流ニ作用スル力—カノ計算(演)
 直流計器(可動コイル型)—檢流計、電流計、電壓計
 感應動電力—感應係數
 交流—交流回路

溫度ニヨル磁性ノ變化
 種々ノ原因ニヨル電氣抵抗ノ變化
 超電氣傳導
 半導體
 蓄電池ノ使用法
 電磁石
 マイクロフォン
 擴聲器
 彈動檢流計
 磁針檢流計
 電磁オッシログラフ
 感應コイル
 多相交流

一七、電氣、磁氣ノ單位	交流計器(可動鐵片型)―電流計、電壓計 發電機、電動機 變壓器、電力輸送 靜電單位系、電磁單位系、實用單位系	ダイナモメーター型計器 水銀整流器
-------------	---	----------------------

號三學年(約五十時間)

	必修事項	選擇事項ノ例
一八、波動理論	振動、波動 正弦波―調和分析(簡)(數) 干涉―定常波、定常波ノエネルギー 偏り波―分解ト合成 ホイヘンスノ原理―反射、屈折 ドップラー効果 音―傳播速度 樂音ノ三要素 氣體柱ノ振動 絃ノ振動 地震波	位相速度ト群速度 超音波 水ノ波 音ノ吸收
一九、物體內ノ波動	音―傳播速度 樂音ノ三要素 氣體柱ノ振動 絃ノ振動 地震波	超音波 水ノ波 音ノ吸收
二〇、電磁波	電磁波ノ發生―ヘルツノ實驗 眞空管―整流管、三極眞空管	マクスウェルノ方程式(簡)(演) 多極眞空管

二一、光波	無線通信(簡)―長波、短波、超短波 光ノ速度ノ測定 光ノ本性―微粒子說、波動說、電磁波說 干涉―ニュートン環、干涉計 直進ト廻折 平面廻折格子 偏光ト複屈折 偏光面ノ廻轉 吸收―物體ノ色、光ノ散亂 赤外線及ビ紫外線 輻射ニ關スル法則 量子論 高溫計 眞空技術 眞空計 陰極線及ビ陽極線 電子ノ電荷ト質量 原子模型 勵起及ビ電離、原子ノ發光 金屬ノ光電效果―光電管 陰極線ノ廻折	テレビジョン 薄膜ノ色 凹面廻折格子 光學器械ノ分解能 結晶ニヨル偏光ノ干涉 限外顯微鏡 ドップラー効果 光ノ波長ト長サノ單位 螢光及ビ燐光 太陽ノ溫度 冷却ノ法則
二二、溫度輻射	眞空技術 眞空計 陰極線及ビ陽極線 電子ノ電荷ト質量 原子模型 勵起及ビ電離、原子ノ發光 金屬ノ光電效果―光電管 陰極線ノ廻折	太陽ノ溫度 冷却ノ法則
二三、眞空放電(簡)	眞空技術 眞空計 陰極線及ビ陽極線 電子ノ電荷ト質量 原子模型 勵起及ビ電離、原子ノ發光 金屬ノ光電效果―光電管 陰極線ノ廻折	陰極線オツシログラフ 質量スペクトル 金屬内ノ自由電子 原子スペクトル 分子スペクトル
二四、電子(簡)	眞空技術 眞空計 陰極線及ビ陽極線 電子ノ電荷ト質量 原子模型 勵起及ビ電離、原子ノ發光 金屬ノ光電效果―光電管 陰極線ノ廻折	陰極線オツシログラフ 質量スペクトル 金屬内ノ自由電子 原子スペクトル 分子スペクトル

理化學科及ビ理科第一演習

<p>二五、X線ト結晶(簡) ノ概説</p>	<p>X線ノ發生ト検出 結晶ニヨルX線ノ廻折 X線スペクトル—原子番號 X線透過能 散亂—コンプトン効果</p>	<p>原子ノ化學的性質 電子顯微鏡 X線ノ發見 デバイ・シエラーノ粉末法 X線スペクトル分析 固體及ビ液體ノ構造 固體ノ表面—吸着 X線光電効果及ビ二次線 放射能ノ發見 種々ノ高壓電源 サイクロトロン 電離線ノ檢出法—霧函、計數管 β線スペクトル 質量缺損 β粒子ノ速度トソノ質量</p>
<p>二六、原子核(簡)</p>	<p>放射能 原子核ノ人工變換 素粒子 宇宙線</p>	
<p>二七、相對論及ビ量子力學ノ概説</p>	<p>特殊相對論 不確定性原理ト量子力學</p>	

備考

(必修事項)ニ掲ゲタルモノニ就キテハ基礎的事項ヲ明確ニ教授スベキモノトス
 (選擇事項ノ例)ニ掲ゲタルモノハ教授者ニ於テ本要綱ノ趣旨ニ則リ適當ト思惟スル數項目ヲ選ビテ講義又ハ演習ニ於テ教授スベキモノノ例ナリ

(簡)ヲ附シタル事項ニ就キテハ成ルベク簡單ニ教授スベキモノトス
 (中)ヲ附シタル事項ニ就キテハ中等學校ニ於テ學習セシ知識ヲ有效ニ活用スベキモノトス
 (演)ヲ附シタル事項ニ就キテハ演習ニ於テ實驗的又ハ理論的方法ニヨリ補足教授スベキモノトス
 (數)ヲ附シタル事項ハ數學ニ於テ主トシテ教授セラルベキモノナルモノノ範圍、程度ハ物理、數學教授擔當者間ニ於テ協議決定スベキモノトス
 (化)ヲ附シタル事項ハ主トシテ化學ニ於テ教授セラルベキモノトス

教授上ノ注意

一、教授事項ノ排列並ニ説明ノ精練ニツキテハ教授者ニ於テ適宜斟酌スベシ 但シ教授事項ノ排列ハ數學科數學教授事項ノ排列ト緊密不離ノ連繫ノ下ニ立案セラレアルヲ以テソノ變更ハ數學科トノ連繫ヲ考慮シテ當該學年内ニ止ムルヲ可トス
 二、教授ニ當リテハ實驗ヲ重シ講義時間ニハカメテ講義實驗ヲ行フト共ニ講義ト演習トノ連絡ヲ密ニシ兩者ノ内容ニ有機的關聯ヲ保タシムルヲ留意スベシ

演習

一、演習ハ之ヲ理論演習ト實驗トニ分ツ
 二、理論演習ニ於テハ

理化學科及ビ理科第一演習

(イ) 講義ニ於テ教授セル事項ニ對シ補足的ナル説明ト生徒各自ノ檢討トニヨリソノ理解ヲ一層精確ナラシムルコト

(ロ) 數學ニ於テ教授セラレタル知識ヲ應用シテ問題ノ數學的處理ヲ會得セシムルコト

(ハ) 問題ノ物理的條件ノ檢討、問題ノ變形、觀察シタル現象ニ對スル物理的因子ノ分析等ヲ行ハシメ判斷力、想像力等ヲ養フコト

等ノ觀點ニ留意シテ指導スベシ 尙理論演習ハ物理ノ全般ニ互リテ行フモノノ重點ハ之ヲ質點・剛體ノ運動及ビ平衡ニ置クベキモノトス

三、實驗ニ於テハ

(イ) 實際ニ即セル明確ナル知識ヲ習得セシムルコト

(ロ) 單ナル機械的操作ニ墮セズ眞摯ナル態度ヲ以テ現象ヲ考察スルノ習慣ヲ養フコト

(ハ) 機械、器具、消耗品等ノ取扱及ビ使用法ヲ習得セシムルト共ニ資材尊重ノ精神ヲ養フコト

(ニ) 測定値ニツキテノ近似計算ニ習熟セシムルコト

(ホ) 測定値ノ精密度ヲ考察セシメ且ツソノ整理法ヲ練習セシムルコト

(ヘ) 測定ノ結果ト理論的計算ノ結果トヲ對比檢討セシメ又ハ現象ヲ精密ニ觀察セシムル等ニヨリ生徒各自ヲシテ問題ヲ發展研究セシムルコト

(ト) 實驗裝置ノ中簡單ナル部分ハ成ルベク生徒各自ヲシテ製作セシムルコト

(チ) 研究的實驗ニ於テ遭遇スル困難ニ對シテ之ヲ打開スベキ不屈ノ精神ヲ養フコト

四、第二學年第二學期以降ニ於テ課スル實驗題目ノ例左ノ如シ

振子ヲ用ヒ重力ニヨル加速度ノ測定

寒暖計ノ定點及ビ目盛ノ檢査

天秤ニヨル質量ノ測定

彈性率及ビ剛性率ノ測定

比熱ノ測定

氣壓及ビ濕度ノ測定

クントノ實驗

光度ノ測定

分光計ニヨル屈折率ノ測定

光ノ波長ノ測定

電氣抵抗ノ測定

電流計ノ常數ノ測定

電位差計ニヨル電池ノ動電力ノ測定

ジュール熱ニヨル熱ノ仕事當量ノ測定

理化學科及ビ理科第一演習

熱電對ニヨル温度ノ測定
交流ニ關スル實驗

五、演習ニ次ノ要領ニ基ツキ教授者ニ於テ適宜ソノ内容ヲ按配スベシ

第二學年第一學期(約八回)

理論演習(回数適宜)

(イ)(ロ)ノ趣旨ニ基ツキ指導ス

實驗(回数適宜)

主トシテ講義實驗ヲヤヤ發展セシメタルガ如キ形式ニヨリ(イ)、(ろ)、(は)、(に)ニ示シタル趣旨ニ基ツキ指導ス 又基礎的ノ測定、對數表使用法、計算尺使用法等ノ練習ヲナサシムルモ可ナリ

第二學年第二學期(約一六回)

理論演習(約六回)

(イ)、(ロ)、(ハ)ノ趣旨ニ基ツキ指導ス

實驗(約一〇回)

前項ニ例示シタルガ如キ基本的實驗約十種目ヲ選定シ毎回一種目ヲ完了セシム (S)、(ろ)、(は)、(に)、(ほ)ノ趣旨ニ留意スベシ

第三學年(約二四回)

化學

教授事項

(二一六 約四十五時間、七 約四十五時間、八、九 約四十五時間、一〇 約十五時間)

第三學年ニアリテハ理論演習及ビ實驗ヲ並行シテ課スルヲ立前トス

但シ兩者ノ回数ノ配分ハ多少變更スルモ妨ゲズ

理論演習(約十二回)

(イ)、(ロ)、(ハ)ノ趣旨ニ基ツキ指導ス

實驗(約十二回)

同一ノ實驗題目ニツキ數回ニ互リテ行ハシメ特ニ(ハ)、(と)、(ち)ノ趣旨ニ留意シテ研究的ニ行ハシム

事	項	備	考
一、原子、分子	混合物、化合物、單體 化學ノ基礎法則 ダルトンノ原子說 アヴォガドロノ定律 原子、分子	第一項ヨリ第六項ニ至ル各項ニ於テハ理論ノ根幹ヲ明確ニ把握セシムルコトニ留意スベシ	

理化學科及ビ理科第一演習

二、週期律	原子量、分子量 状態方程式(簡) 元素 メンデレーフノ週期表 原子價、化學當量 原子模型(簡) 原子結合ノ様式 元素記號ト化學式	
三、反應速度ト化學平衡	反應速度ノ概念 反應速度式 化學平衡 質量作用ノ定律 化學反應ト熱 (反應熱、熱化學方程式) 化學反應ト光 觸媒 相ノ平衡 (ルシャトリエノ原理)	反應速度、反應熱等ノ事項ニツキテハ力メテ具體的ナル例ヲアガ實驗又ハ計算等ノ演習ニヨリテ理解ヲ徹底セシムベシ
四、稀薄溶液	滲透壓 フアントホッフノ定律 溶液ノ蒸氣壓 沸點上昇、氷點降下	相ノ平衡ニ關シテハ氣體ノ溶解(ヘンリーノ定律)、鹽類水溶液、風解、潮解、解離等ノ如キニ成分系ノ簡單ナル例ニ止ムベシ

五、電解質ノ水溶液	電離ノ實驗的根據 電離度、電離平衡 水ノ電離 水素イオン濃度 加水分解 溶解積 電氣分解、ファラデーノ定律 單極電位 電池	
六、膠質	膠質ノ概念ト性狀 ソルトゲル	
七、無機物質	水、水素、酸素、空氣(稀有氣體) 鹽素、臭素、沃素、弗素トソノ化合物 硫黃トソノ化合物 窒素、磷、砒素トソノ化合物 炭素、珪素トソノ化合物 硼素トソノ化合物 金屬元素概説 ナトリウム、カリウムトソノ化合物 アンモニウム化合物 銅、金、銀トソノ化合物	本項ニ於テハ主要ナル無機物質ニ就キテ鹽類ノ特ニ酸化還元、燃焼、酸、鹽基、留意スベシ 金屬鹽類ノ知識ハ主トシテ演習ニ於テ授クベシ 特殊ナル化合物ヲ取扱フ

<p>八、有機物質</p> <p>有機化合物ノ分離・精製・分析</p> <p>有機化合物ノ構造ト異性現象</p>	<p>マグネシウム、カルシウム、ストロンチウム、バリウムトソノ化合物</p> <p>亜鉛、水銀トソノ化合物</p> <p>アルミニウムトソノ化合物</p> <p>錫、鉛トソノ化合物</p> <p>クロムトソノ化合物</p> <p>マンガントソノ化合物</p> <p>鐵、コバルト、ニッケルトソノ化合物</p> <p>白金トソノ化合物</p> <p>放射性元素</p> <p>ソノ他ノ元素トソノ化合物</p> <p>元素ノ分布</p>
<p>鎖状化合物</p> <p>炭化水素</p> <p>飽和炭化水素</p> <p>不飽和炭化水素</p> <p>ハロゲン置換體</p> <p>アルコール</p> <p>エーテル</p> <p>アミン</p> <p>アルデヒド、ケトン</p> <p>カルボン酸(酸鹽化物、酸無水物、酸アミド、ニトリル)</p> <p>エステル(脂肪)</p> <p>有機金屬化合物</p> <p>オキシ酸、アミノ酸</p> <p>炭水化物</p> <p>環状化合物</p> <p>芳香族炭化水素</p> <p>核置換體</p> <p>側鎖化合物</p>	<p>無機化學ヲ了ルニ當リテハ週期表ヲ中心トシテ元素全體ノ知識ヲ纏ムルヲ可トス</p> <p>項目ニ漏レタル必要元素及ビソノ化合物ニ就キテハソノ際ニ應ジテノ解說シ或ハ合金等ノ項ニ於テ觸ルル程度ニ止ム</p> <p>本項ニ於テハ有機物ノ一般處理法ヨリ入リテ機能原子團ヲ中心トシテ有機化學ノ系統ノ概略ヲ理解セシムルコトニ重點ヲ置ク</p> <p>構造式決定ノ例ヲ一、二ノ物質ニ就キテ示ス必要アリ</p> <p>異性ノ例ハ同分異性、システラン、ス異性、簡單ナル光學異性ニ止メ、異性現象ノ發現ノ主條件ヲ示スコトニ重點ヲ置ク</p>

機能原子團ヲ中心トシタル有機化合物ノ一般知識ヲ於テハ鎖状化合物ニ於テ一通リ投ケテ了ラカニハコレト環状化合物トノ異ル點ヲ明カニシテハコレト環状化合物トノ脂環狀化合物ニ就キテハベンゼン、ナフタリルン、水素添加反應ヲ述ブル際コレニ觸ルル程度ニ止ムルヲ可トス又コレニ屬スルステロイド、樟腦等ニ就キテハ第九項ニ縮合環状化合物ノ或物(アリザリン)、多環化合物ノ主要物質等ハ染料ノ項ニテ取扱フ

<p>九、生化學的物質</p>	<p>複素環狀化合物 營養物質 脂肪、炭水化物、蛋白質 酵素 テルペン、樟腦 動物物色素 アルカロイド ビタミン ホルモン</p>	<p>本項ニ於テハ生化學的物質ヲ有機化學體系ニ於ケル位置ニ關聯セシメテソノ一般知識ヲ授クベシ</p>
<p>十、資源ト利用</p>	<p>酸、アルカリ工業 珪酸工業 冶金、合金 肥料 燃料 油脂 纖維 合成樹脂トゴム 火薬ト化學兵器 染料 醫藥</p>	<p>本項ニ於テハ重要物質ノ實生活ニ於ケル役割並ビニソレヲノ關聯ニ就キテ適正ナル知識ヲ與ヘ學理ト應用トノ密接ナル關係ニ注意スベシ</p>

教授上ノ注意

- 一、教授事項ハ便宜上理論(一一六)、無機(七)、有機(八、九)、應用(一〇)ノ順序ニ排列シタルモ教授ニ當リテハ適宜之ヲ織リ交ヘ適當ナル順序ニ於テ授クベシ
- 二、教授ニ當リテハ實驗ヲ重ンジ講義時間ニハカメテ講義實驗ヲ行フト共ニ講義ト演習トノ連絡ヲ密ニシ兩者ノ内容ノ配分ニ十分ナル關聯ヲ保タシムルヤウ留意スベシ

演習

- 一、演習ハ之ヲ計算演習ト實驗トニ分ツ
- 二、計算演習ニ於テハ例ヘバ反應速度、解離平衡等講義ニ於テ授ケラレタル知識ニ基ヅキ實際ノ例ニツキテ數値計算ヲ行ハシメ又(イ)ノ實驗(後出)ニ於テ得ラレタル數値(例ヘバウイクトルマイヤー法ニヨル蒸氣密度)ヲ用ヒテ分子量ノ如キ重要ナル化學量ヲ計算セシメ以テ化學ノ基礎概念ノ把握ヲ確實ナラシムベシ
- 三、實驗ハ之ヲ
 - (イ) 教授者ガ中心トナリテ數名ノ生徒ヲシテ行ハシメ他ノ生徒ヲシテ見學セシムルモノ
 - (ロ) 定性分析、容量分析ノ如ク生徒各自ニ行ハシムルモノ
- ニ分ツ 所要時間ノ點ニ於テ講義實驗トシテ行ヒ得ザルモ生徒ニ展示スル必要アルガ如キ實驗(ハイ)ノ形式ニヨリテ行フ可トス

- 四、演習ノ内容ノ配分ハ成ルベク講義ノ進行ニ步調ヲ合サヤウ留意シ從ツテ第二學年第一學期ノ演習ニハ主トシ

テ分子量、反應速度等ノ計算演習ヨリ始メ第二學年第二學期ヨリ演習(ロ)ニ移リ非金屬元素ニ關スル講義ト併行シテ陰イオンノ反應及ビソノ檢出ヲ試ミタル後陽イオンノ反應ニ移ルヲ可トス

五、金屬鹽類ニ就キテノ知識ハ主トシテ實驗ヲ通ジテ授クルヲ立前トセルヲ以テ陽イオンノ反應檢出ニ當リテハ特ニソノ點ノ理解ニ注意ヲ向ケシムルヲ要ス

六、實驗(イ)及ビ計算演習ニ於テ課スベキモノノ參考トシテ左ニ例ヲ掲グ

- 一、ウイクトルマイヤー法ニヨル分子量ノ測定(ベンゼン)
- 一、氷點降下法ニヨル分子量ノ測定(樟腦又ハナフタリン)
- 一、金屬元素ノ當量ノ測定(マグネシウムト鹽酸トノ反應ニヨリテ生ズル水素ノ體積ノ測定)
- 一、ヘンリーノ定律ニ關スル實驗(水中ニ溶存スル酸素量ノ沃素滴定法ニヨル測定值ト計算溶解量トノ比較)
- 一、化學反應速度ノ測定(鐵鹽ノ存在ニ於ケル過酸化水素ノ分解)
- 一、化學平衡ニ關スル計算(アムモニアノ合成或ハ過酸化窒素ノ平衡)
- 一、コロイドノ生成及ビ凝結(硫化砒素)
- 一、生成熱ノ計算(飽和炭化水素及ビ不飽和炭化水素ニ於ケル比較)
- 一、動電力ヨリ水素イオン濃度ノ算出
- 一、石炭瓦斯ノ分析

七、實驗(ロ)ニ於テ實習セシムベキ項目左ノ如シ

- 一、硝子細工(洗滌ノ組立)ト硝子器ノ洗滌(一回)
- 一、中和滴定(二回)
- 一、酸化還元滴定(二回)
- 一、陰イオンノ反應ト檢出(三回)
- 一、陽イオンノ反應ト檢出(六回)
- 一、未知溶液、固體試料ノ無機定性分析(七回)
- 一、有機物質ノ定性元素分析(一回)
- 一、數種有機化合物ノ反應(三回)
- 一、合成、精製、純度檢定(二回)
- 一、二三ノ生化學的實驗(三回)

博物科及理科第二演習

教授方針

博物科及理科第二演習ハ生物並ビニ地殻ニ關スル研究方法ト知識トノ基礎ヲ體得セシメ科學的ナル考察處理ノ能力ヲ鍊磨シ國力ヲ増進シ大東亞新秩序ヲ建設スベキ實踐力ト獨創力トノ根基ニ培ヒ生物愛育、國土愛護ノ念ヲ以テ貫ク科學的精神ヲ涵養スルヲ以テ要旨トス

本科ノ内容ヲ生物及ビ地學ノ二部門ニ分テタルハ生物學及ビ地學の考察ノ特色ヲ十分ニ會得セシメンガタメニ外ナラズ 教授ニ當リテハコノ點ニ留意シ緊密ナル全體の關聯ノ下ニ本科ノ要旨ヲ達成スルヲ要ス 教授ノ方針トスベキトコロ概ネ左ノ如シ

- 一、自然ニ親シミ眞摯ナル態度ヲ以テソノ實相ヲ究明セントスル精神ヲ喚起シ國民性ニ根ザセル生命觀・自然觀ヲ正シク把持シテ益トソノ内容ヲ豊カニ發展セシメントスル熱情ニ培フベシ
- 二、カメテ事例ヲ我が國及ビ大東亞ニ採リ生物、礦物及ビ生物學的研究、地學的研究ノ國民ノ生活及ビ使命ニ對スル意義ノ重大ナルコトヲ認識セシメ資源活用ノ態度ノ涵養トソノ能力ノ助長トニカムベシ
- 三、觀察、實驗、實習ヲ基礎トシテ生物及ビ生活現象並ビニ地殻構成物質及ビソノ構成状態ニ就キテ修得セシメ且ソノ理法及ビコレト人生トノ關聯ヲ明ラカナラシムベシ
- 四、生物及ビ地學ノ學習ニハ物理及ビ化學ノ知識並ビニ研究ヲ十分ニ活用スルノ必要アルヲ覺ラシムベシ

生物

教授事項第一部

第一學年(約六五時間)

- 一、細胞及原生質
- 二、物質代謝
 - (一) 物質ノ攝取
養料、水、消化、吸收、酵素、ビタミン
 - (二) 物質ノ同化
無機物ノ同化、炭素同化、窒素同化、同化生成物
 - (三) 水及ヒ物質ノ移動・循環
 - (四) 物質ノ異化
呼吸、發酵、解糖作用、排泄

熱、光、電氣、機械的エネルギー

(五) 炭素及ヒ窒素ノ輪廻

三、調節

- (一) 機能ノ相關、ホルモン
- (二) 神経系
- (三) 感覺

四、運動

- (一) 屈曲運動、向動性、傾動性
- (二) 轉位運動、趨動性
- (三) 筋運動

五、生殖、發生及ヒ生長

- (一) 無性生殖
- (二) 有性生殖、受精
- (三) 卵割、胚葉形成
- (四) 器官ノ形成、組織ノ分化
- (五) 生長

博物科及ヒ理科第二演習

六、生活體トシテノ生物

無生物ト生物、植物ト動物、動物ト人、自律性、個體維持、種族維持

第二學年第一學期(約三二時間)

七、遺傳

(一) 形質、メンデル性遺傳

(二) 染色體、遺傳子、遺傳子ノ連鎖

(三) 性ニ關スル遺傳

八、生物ノ變異

(一) 彷徨變異

(二) 突然變異

(三) 種ノ概念及ビ進化

九、生物ト環境

(一) 環境要素ト適應、生活形

(二) 群落

(三) 日本及ビ大東亞ニ於ケル生物ノ分布

一〇、生物ト人生

(一) 資源トシテノ生物

(二) 微生物ノ利用

(三) 病原微生物、免疫、化學療法

(四) 育種、優生

備考

第一部ノ演習ハ之ヲ或ハ實驗室内ノ共同觀察實驗實習ニ充テ或ハ地學野外實習ト關聯シテ生物ノ生態觀察ニ充ツルモノトス

教授事項 第二部ノ一

第二學年第二學期、第三學年(約四〇時間)

一、自然系統ニヨル植物及ビ動物ノ分類

(一) 學名

(二) 門・綱・目・科・屬・種・變種・品種ノ意義

(三) 代表的ナル植物及ビ動物ノ種類ヲ舉ゲテ各門、綱(場合ニヨリ目マデ)ノ特徴ノ大要及ビ各群間ノ關係ヲ知ラシム

教授事項 第二部ノ二(演習)

第二學年第二學期、第三學年(約四〇回)

博物科及ビ理科第二演習

一、植物ノ形態及ビ生理實習

(一) 左ノ各項ヨリソレソレ適當ナルモノ一モシクハ二ヲ選ビテ觀察實驗セシム。各門・綱(場合ニヨリテハ目マデ)ノ代表的ナル植物ニツキテハ當該群ノ特徴ノ大要ヲ觀察實驗セシム

全般ニ互リ形態ト機能トノ關係ノ理解ニ留意セシム

實習ノ順序ハ季節的・地域的事情ニヨリ適宜之ヲ定ムルモノトス

馬鈴薯菌、根瘤菌、發光菌、鐵細菌、空中細菌等

ユレモ、ジユズモ、ヒゲモ等

粘菌、ミヅカビ、ケカビ等

酵母菌、アブカビ、カウチカビ、クロカビ等

アミガサタケ、チャワシタケ、シヒタケ、マツタケ等

珪藻、ミドリムシ、アラミドロ、ホシミドロ、ミカヅ

キモ等

フシナシミドロ、アミミドロ、サヤミドロ等、カハノ

備考

細菌、絲狀菌、酵母菌ニ就キテハ適宜捕集、培養ヲ行ヒ羊齒植物ニ就キテハ原葉體ヲ培養觀察セシム

細胞膜、原形質(原形質分離)、核(ビレノイド)、色素體、細胞含有物(澱粉粒)ノ如キ主要ナルモノニ限ル)

等ニ就キテハ右ノ材料ヲ以テ觀察實驗セシムルヲ可トスルモ次項ト關聯シ二、三ノ種子植物ニ就キテ之

ヲ補足觀察セシムルモ可ナリ

適當ナル機會及ビ材料ニ就キテミクロメーターニヨル大キサノ測定ヲナサシム

(二) 適當ナル種子植物二、三種ニ就キ種子ノ發芽ヨリ始メテ植物體ノ生育、開花、結實、枯死ニ互リ葉、莖、

根、花、種子等ヲ内外兩部形態ノ觀察ト相俟テ生理作用ニ就キ繼續的ニ觀察セシム

又コレニ關聯シ適當ナル一、二ノ植物材料ニ就キテ細胞分裂、減數分裂ヲ觀察セシム

二、動物ノ形態及ビ生理實習

(一) ザウリムシ、アメーバ等(趨性ノ實驗ヲ含ム)

(二) ヒドラ、クラゲ等

(三) プラナリア(再生ノ實驗ヲ含ム)

(四) 比較解剖

ミミズ、ヒル等

カタツムリ、カラスガヒ等

バッタ、エビ等

フナ、カヘル等

(五) 生理實驗

神經及ビ筋肉

心臟及ビ循環

アミラーゼ、オクシダーゼ、ペルオクシダーゼ、カタラーゼ等(植物ヨリノ酵素ヲ用ヒ又ハ之ヲ併セ

博物科及ビ理科第二演習

用フルモ可ナリ)

三、臨海實習

學校所在地ノ狀況ニヨリ湖沼等ニ於テ生態觀察、採集、ソノ他環境要素ニ關スル諸種ノ測定等ヲ課スルコトヲ得
教授上ノ注意

- 一、知識ノ修得ヲシテ散漫ナラシメザランガタメ重要ナル教授事項ニ於テハソノ概括統合ニ意ヲ用フベシ
- 二、細胞ニ就キテハ形態ト共ニ生理的基礎タルノ概念ヲモ併セ教授スベシ 特ニ細胞膜、原形質、色素體、含有物等ニ就キテハ物理的化學的性質ノ教授ニ留意スベシ
- 三、教授事項第一部ニ於テハ器官、組織ニ就キ植物及ビ動物トモニ輕クコレニ觸ルルニ過ギズ モツバラ生理、生態、遺傳、進化ニ主力ヲ集中シ教授事項第二部ニ於テハ系統分類ト關聯シテ器官、組織ニ關スル事項ヲモ授クベシ
- 四、物質代謝ノ項中炭素及ビ窒素ノ輪廻ナル項ニ於テハ重要ナル元素タル炭素及ビ窒素ノ特ニ生物現象ヲ通ジテノ地球上ニ於ケル輪廻ヲ扱フモノニシテ全體の考察ヲ要ス
- 五、生物ト人生ナル項目中(一)資源トシテノ生物ニ就キテハ食料、工業原料、醫藥原料トシテ用ヒラレタル面ヲ歷史的ニ且地理的ニモ扱フベク羅列ニ陥ラザルヲ肝要ナリトス (二)微生物ノ利用ハ微生物ノ醱酵工業的利用、醫藥及ビ食品トシテノ利用、農業方面ヘノ利用、腐敗菌ノ隠レタル效能等ニ就キテ授クルモノトス (三)病原微生物ニ就キテハ滅菌、消毒、接種等傳染病豫防ニ關スル事項ヲモ教授スベシ

地 學

教授事項

第一學年第一學期(約三〇時間)

- 一、地球ノ全體の考察(約二時間)
地球ヲ全體的ニ取扱ヒ氣圈・水圈・岩石圈・重圈ノ特性ヲ知ラシメ併セテ地殼、岩石、礦物ノ意義ヲ明ラカナラシム
- 二、礦物ノ形態(約七時間)
主要礦物ノ形態ニ重點ヲ置キ今後ノ學習ノ基礎トシテ必要ナル程度ニ止ム 體系の結晶學ノ知識ヲ授クルニアラズ 結晶記號ハミラー法ニ止ム
- イ、六結晶系
- ロ、三十二對稱族中ノ主要ナルモノ
各結晶系完面像
閃亜鉛礦、黃鐵礦、方解石、電氣石、石英、黃銅礦
- ハ、集合狀態及ビ非結晶質礦物
- 三、礦物ノ性質(約四時間)
形態ニ密接ナル關係ヲ有スル性質及ビ礦物ノ識別ニ必要ナル性質ニ重點ヲ置キ比重、硬度、劈開、斷口、條痕、光澤、蝕像、打像、壓像、發光、電磁氣性、同質多像、類質同像、混晶等ノ事項ニ就キテ第五項ノ各論等ト照合シツツ演習
傳物料及ビ理科第二演習

ヲ主トシテ授ク

初學者ニ理解ノ困難ナル顯微鏡下ノ光學的性質ハタダ現象トシテ取扱ヒソノ鑛物識別上ニ於ケル意義ヲ知ラシムルニ止ム

四、鑛物ノ成因ト變化(約四時間)

鑛物ノ生成徑路及ビ相互關係ヲ明ラカニシ岩石及ビ鑛床ノ理論的考察ノ基礎タラシム

イ、岩漿

ロ、火成期(造岩鑛物ノ晶出)

ハ、殘留岩漿ト鑛脈

ニ、水成鑛物

ホ、二次的鑛物

ヘ、土壤

五、主要ナル鑛物ノ性狀・利用・分布(約二時間)

六、岩石ノ分類

(約四時間)

主要ナル岩石

第五項・第六項ノ鑛物・岩石ノ各論ニ於テハ第二項、第三項、第四項ニ於テ修得セル知識ヲ綜合シテ經濟上或ハ文化上重要ナル鑛物・岩石ニ關スル知見ノ具體化ヲ圖リ特ニ生徒ノ自發的ナル修得ノ助長ニカム

七、地質作用

地質構造 (約八時間)

地表形態

地殼ノ全體の構成狀態トソノ生成・變遷トヲ明ラカナラシム 特ニ日常生活トノ關聯ニ留意シ景觀及ビ郷土ニ對スル理解ヲ豐富ナラシム

イ、地質構造

火成岩ノ現出狀態

主要ナル地質構造ノ類型(斷層、皺曲)トソノ分布

ロ、地表及ビ内部構造ノ變遷

侵蝕輪廻

地殼運動

構造ト地形トノ關係

第一學年第二學期(約一六時間)

八、地球ノ歴史(約六時間)

地史ノ大意ヲ授ク

學校所在地ノ狀況ニ應ジ適當ナル地層ヲ例ニトリテ地史對比法ノ實際ニ觸レシムルヲ可トス

博物科及ビ理科第二演習

古生物ト地史

地質時代ト地質系統

九、大東亞ノ地體構造(約四時間)

既得ノ知識ヲ綜合シ地域的特性ノ考察ヲナサシメ日本ノ地體構造上ノ特性ヲ強調シ併セテ大東亞ニ對スル認識ヲ深カラシム

一〇、地質學ノ應用(約六時間)

以上各項ノ諸資料ヲ綜合シ國家的見地ヨリ地下資源ニ對スル考察能力ヲ養成シ資源開發ニ對スル科學的關心ヲ啓發ス

ソノ他質學ノ諸應用ニ就キテ知ラシム

イ、地下資源

重要ナル鑛石

鑛床ノ構造及ビ分布

ロ、地質ト土木

ハ、地下水

一一、野外實習

隨時野外ニ於テ讀圖・觀察・測定・採集ヲ行ヒ更ニ標品・報告書ノ整備等ヲ指導ス

教授上ノ注意

一 常ニ講義ト演習トヲシテ密接不離ノ關係ヲ保タシムベシ

二 演習ニ於テ課スルヲ適當トスルモノ左ノ如シ

結晶生成ノ觀察

面角ノ測定、記號ノ計算

結晶ノ投影及ビ計算

鑛物特性ノ觀察

主要ナル鑛物ノ鑑定

鑛物顯微鏡ノ操作

主要ナル岩石ノ識別

土壤ノ取扱

地形圖、地質圖ニ關スル作業(讀圖、作圖、断面圖ノ作製)

化石ノ實習

鑛石ノ實習

人 文 科

教授方針

人文科ハ學國ノ精神ノ歴史の顯現、世界ノ現勢、國民生活ノ實態、人間精神ノ諸相等ヲ廣キ視野ヨリ具體的ニ考察セシメ皇國民トシテ豊カナル人生觀・世界觀ノ體得ニ資スルヲ以テ要旨トス

一、抽象的概念的理解ニ陥ラシメザルタメ全事項ニ互リテ古典ノ講讀等ヲ通ジテ忠臣烈士先哲偉人ノ魂トソノ經綸トヲ直接的ニ感得セシムルヤウカムベシ

二、時事問題ニ就キテハ抽象的羅列的説明ニ流ルルコトナク特ニ歴史的全體的關聯ヲ闡明シ問題ノ核心ヲ明示スベシ

三、歴史のナル問題ニ就キテハ個々ノ事件ノ考證的年代記的解説ニ終ルコトナク歴史ヲ一貫スル精神ヲ把握セシムベシ

四、藝術作品、史料、史蹟、政治・經濟關係ノ公共施設、心理・地理關係ノ事項等ハ成ルベク見學、實習等ニヨリテ具體的ニ會得セシムベシ

五、隨時研究報告書、感想文等ヲ提出セシメ正確ナル思索力・表現力ヲ鍛鍊スベシ

教授事項

一、學問論(約五〇時間)

人文科

近世ヨーロッパニ於ケル科學的思惟ノ發展ニ歷史的理解ヲ與ヘ自然科學ト文化科學トノ差異及ビ關聯ヲ會得セシメ科學的認識ノ本質・限界ヲ明ラカニシテ正シキ自然觀・文化觀ヲ與ヘ學問ハ信ノ上ニ立ツ人生ノ行タル所以ヲ宣揚シ以テ國民精神ノ傳統ニ根ザス學問的創造ノ熱情ヲ喚起スルト共ニ學徒ノ使命ガ學問ヲ通ジテノ皇運扶翼ニ存スルコトヲ深ク自覺セシム

二、我が國ノ文化(約五〇時間)

國體ニ淵源シ家ト郷土トニ培ハレタル我が國ノ傳統的文化ガ世界各國ノ文化ヲ醇化融合シツツ生成發展シ來リタルコトヲ實例ニ即シテ理解セシム

祭政教一致、文武一體、學問・宗教・藝術ノ一元、物心一如ノ思想等ハ誇ルベキ我が國文化ノ特性ニシテカクノ如キ文化ノ精華ヲ發揚スルコトニヨリ來ルベキ世界秩序ノ内容ガ形成セララルモノナルコトヲ認識セシム

三、國民生活ノ諸相(約三・五時間)

精神活動ノ諸相ヲ觀察セシメ個人ノ性格、集團・民族ノ特質、指導者ノ諸資質等ヲ明ラカニスルト共ニ産業、醫事、國防等實生活ニ關スル諸事象ノ具體的處理方法ヲ會得セシメ更ニ進ンデ現實ノ國民生活ノ諸相ヲ全體的に考察セシメ政治、經濟等ノ實態ヲ通ジテ國法遵奉ノ眞精神、經濟活動ノ正シキ目標ヲ理解セシメ以テ國家ノ經綸ニ對スル雄渾ニシテ眞摯ナル志竝ビニ指導者トシテノ識見ノ長養ニ資ス

四、世界ノ現勢(約三・五時間)

歐米ヲ中心トスル近代的世界ノ構造、歐米諸國ノ植民地經略ノ真相、歐米ノ侵迫ニヨツテ生ジタル東亞ノ形勢等

ノ大要ヲ説キ明治維新、日露戰爭等ノ世界史ニ於ケル意義ヲ闡明シ第一次ヨーロッパ大戰、ヴェルサイユ體制ノ矛盾、世界恐慌ニヨリテ生ジタル世界各地ノ變貌竝ビニ新體制國家ノ出現ノ事情ヲ理解セシム

滿洲事變ヨリ大東亞戰爭マデノ世界大勢ノ推移ハ世界新秩序ノ展開トシテ説キソノ間思想問題、人口問題、社會問題ノ變遷、國體明徵問題、總動員法、民族問題等ヲ解説シ大東亞共榮團建設ノ目標竝ビニソノ方略ノ概要ヲ知ラシメ以テ皇國ノ世界ニ於ケル地位ト使命トヲ體得セシム

教授上ノ注意

- 一、教授事項相互ノ關聯ヲ密ニシ人文科全體トシテ一貫スルヤウ特ニ留意スベシ
- 二、道義科、古典科ノ教授内容ト緊密ナル連絡ヲナシ初學年ニ於テ培ヒタル古典ノ讀破力ヲ十分ニ活用スルヤウ指導スベシ 講讀用古典竝ビニ傳記ニツキテハ古典科ノ教授事項及ビ文科第一演習ノ指導事項ヲ参照スベシ

體 鍊 科

教授方針

體鍊科ハ身心一體ノ鍛鍊ヲ通ジテ剛健不撓ノ體力氣力ヲ養ヒ獻身奉公ノ實踐力ヲ充實シ皇國ノ使命遂行ニ勇躍挺身スル指導的人材ヲ鍊成スルヲ以テ要旨トス

- 一、體鍊ハ凡テ基礎ノ確立ヲ先トシ千磨不屈ヲ主眼トスベシ
- 二、國防能力ノ増進ヲ眼目トシ體操、教練、武道ノ各部門ヲシテ緊密ナル關聯ノ下ニ夫々ソノ特色ヲ發揮セシムベシ
- 三、道義科及ビ學校修練組織トノ一體的關係ニ留意シテ體鍊ノ成果ヲ日常化スルニカメ生活訓練ノ徹底ヲ期スベシ
- 四、率先躬行、沒我協同ノ習慣ヲ確立シ團體的行動ニ慣熟セシメ脈絡一貫一令ノ下寸毫ノ紊ルモノナキヲ期スベシ
- 五、身心ノ發達ト土地ノ狀況トヲ考慮シテ國家ノ要請ニ應ズル鍊成目標ヲ定メ鍛鍊、養護ヲ一體トスル不斷ノ修練ニ依リ着實ニソノ效果ヲ收ムベシ
- 六、體鍊ノ國家的意義ヲ認識セシムルト共ニ各個ニ適切ナル指導ヲ與ヘテ體位ノ向上ニカメシムベシ
- 七、機會アル毎ニ海防並ニ海洋ノ認識ヲ賦與シ海洋教練ノ實施ニカムベシ

教授事項

一、體 操

體 鍊 科

體力ノ充實ヲ主眼トシ巧緻性ノ練磨、持久力ノ増進、團體的行動ノ慣熟ニカメ潤達敢爲、規律協同ノ精神ヲ涵養スベシ

當分ノ内從來ノ體操教授要目ヲ參酌シ工夫指導スベシ

二、教練

學校教練教授要目ニ依ルベシ

三、武道

我が國固有ノ武術ニ習熟セシメ剛健敢爲ノ身心ヲ鍛鍊シテ武道精神ヲ涵養シ特ニ旺盛ナル攻撃精神ト必勝ノ信念トヲ振起スベシ

實戰的氣魄ノ鍊成ヲ旨トシ之ニ適當セル演練ヲ行フベシ

劍道及ヒ柔道ハ兩者若クハ其ノ一ヲ必修セシム

銃劍道ハ之ヲ必修セシム

弓道ハ適宜之ヲ課スルコトヲ得

附 錄

●文部省令第三十一號

高等學校規程ノ臨時措置ニ關スル件左ノ通定ム

昭和十七年三月三十日

文部大臣 橋 田 邦 彦

高等學校規程ノ臨時措置ニ關スル件

第一條 高等學校高等科ノ學科課程ハ高等學校規程第四號乃至第二十條ノ規定ニ拘ラズ當分ノ内本令ニ依ル

第二條 高等科文科ノ學科目ハ道義科、古典科、歴史科、經國科、哲理科、自然科、外國語科、體鍊科、第一演習及

第二演習トス

高等科理科ノ學科目ハ道義科、古典科、數學科、理化學科、博物科、人文科、外國語科、體鍊科、第一演習、第二演習及第三演習トス

外國語科及演習ニ於ケル外國語ハ第一外國語及第二外國語トシ第一外國語ハ獨語、英語及佛語トシ第二外國語ハ獨語、英語、佛語、伊語、支那語及露語トス

第三條 文科各學年ニ於ケル各學科目ノ每學期教授時數ハ左表ニ依ルベシ

附 錄

學科目	第一學年		第二學年		第三學年	
	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
道義科	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
古典科	六五	六五	六五	六五	六五	三五
歷史科	五〇	五〇	六五	六五	三五	三五
經濟科	三〇	三〇	三五	三五	三五	三五
哲學科	三〇	三〇	三五	三五	三五	三五
自然科	五〇	五〇	三〇	三〇	二五	二五
外國語科	九五	九五	九五	九五	七〇	七〇
體煉科	八〇	八〇	八〇	八〇	六〇	六〇
計	四三〇	四三〇	四三五	四三五	三一〇	三一〇
第一演習	二四〇	二四〇	三三〇	三三〇	三〇〇	三〇〇
第二演習	三三〇	三三〇	二四〇	二四〇	一八〇	一八〇
計	五六〇	五六〇	五六〇	五六〇	四八〇	四八〇

學年ハ之ヲ二學期トシ第一學期ハ四月乃至九月、第二學期ハ十月乃至翌年三月トス
教授ニ當リテハ二時間繼續ノ授業ヲ行ヒ又ハ一時間ノ授業ヲ分割スルコトヲ得

演習ハ一回二時間ヲ標準トス
第四條 理科各學年ニ於ケル各學科目ノ每學期教授時數ハ左表ニ依ルベシ

學科目	第一學年		第二學年		第三學年	
	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
道義科	三〇	三〇	三〇	三〇	三五	三五
古典科	五〇	五〇	九五	九五	(七〇)	(七〇)
數學科	一一〇	九五	九五	九五	(七〇)	(七〇)
理化科	五〇	五〇	九五	九五	(七〇)	(七〇)
博物科	六五	五〇	九五	九五	(七〇)	(七〇)
人文科	五〇	三五	三五	三五	(二五)	(二五)
外國語科	九五	三五	三五	三五	(二五)	(二五)
體煉科	八〇	八〇	八〇	八〇	七〇	七〇
計	四八〇	四八五	四八〇	四八〇	六〇	六〇
第一演習	一六〇	一六〇	一六〇	一六〇	三六〇	三六〇
第二演習	一六〇	一六〇	(一六〇)	(一六〇)	(二四〇)	(二四〇)
第三演習	一六〇	一六〇	一六〇	一六〇	一三〇	一三〇
計	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	四八〇	四八〇

附錄

學年ハ之ヲ二學期トシ第一學期ハ四月乃至九月、第二學期ハ十月乃至翌年三月トス

教授ニ當リテハ二時間繼續ノ授業ヲ行ヒ又ハ一時間ノ授業ヲ分割スルコトヲ得

演習ハ一回二時間ヲ標準トス

第二學年第二學期及第三學年ニ於ケル數學科(一一〇)(七〇)ト數學科(六五)、博物科(一五)(二五)及第二演習(一六回)(二四回)トハ生徒ヲシテ其ノ一ヲ選擇履修セシムルモノトス

第五條 高等學校規程第二十八條第二項ノ規定ハ當分ノ内之ヲ適用セズ

附 則

本令ハ昭和十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ第二學年及第三學年ニ在學スル生徒ニ對シテハ仍高等學校規程ニ依リ之ヲ行フ

●文部省令第三十二號

高等學校教員規程ノ臨時措置ニ關スル件左ノ通定ム

昭和十七年三月三十日

文部大臣 橋 田 邦 彦

高等學校教員規程ノ臨時措置ニ關スル件

高等學校教員規程ニ依ル高等科教員免許狀ハ當分ノ内修身ニ在リテハ道義科、國語又ハ漢文ニ在リテハ古典科、日本史及東洋史又ハ西洋史ニ在リテハ歴史科、法制及經濟又ハ地理ニ在リテハ經國科、哲學概説又ハ心理及論理ニ在リテ

ハ哲理科、數學又ハ圖畫ニ在リテハ數學科、物理又ハ化學ニ在リテハ理化學科、植物又ハ動物若ハ地質及礦物ニ在リテハ博物科ノ高等科教員免許狀ト看做ス

附 則

本令ハ昭和十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●文部省訓令第七號

高等學校高等科臨時教授要綱別冊ノ通之ヲ定ム但シ別冊ハ別ニ頒ツ

昭和十七年三月三十日

高 等 學 校

附 則

文部大臣 橋 田 邦 彦

本令ハ昭和十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ第二學年及第三學年ニ在學スル生徒ニ對シテハ仍高等學校高等科教授要目ニ依ル但シ本要綱ノ趣旨ニ基キ教授スルモノトス

附 錄

五

四



933	函	181	號	年	月	日
授等子校等科臨時教 授等子校等科臨時教						
備考						

製本控

昭和十七年五月十八日印刷
昭和十七年五月廿一日發行

(非賣品)
文部省
東京市神田區神保町一丁目三番地
藤崎夫
〒100 神田區神保町三十六番地
谷良一
〒100 神田區神保町三十六番地
日東印刷株式會社
〒100 神田區神保町一丁目三番地
出版文化協會
〒100 神田區神保町一丁目三番地
東京一四四九一一番



Handwritten Japanese text on a small rectangular slip of paper, including the characters '昭和十七年五月十八日' and '発行'.

昭和十七年五月十八日印刷
昭和十七年五月十八日發行

(非賣品)

文部省
東京市神田區神保町一丁目三番地
代售者 尾藤晴夫
東京市本郷區西町三十六番地

印刷者 龜谷良一
東京市本郷區西町三十六番地

印刷所 日東印刷株式會社
東京市本郷區西町三十六番地

發行所 日本出版文化協會
東京市神田區神保町一丁目三番地
振替口座東京一四四九一一番

